

# 東京放射線

2013年10月号

Vol.60 No.710



公益社団法人 東京都診療放射線技師会

<http://www.tart.jp/>

報

告

登録事項変更届

第11回ペイシエントケア学術大会特別講演  
H25年度診療放射線技師のための「フレッシュヤーズセミナー」  
および第23回日暮里塾ワンコインセミナーアンケート結果

お知らせ

「TART」ロゴマーク募集

会  
告

第50回きめこまかな生涯教育  
地球環境保全活動（荒川河川敷清掃活動）

巻頭言

変化と変動 篠原健一

# 平成25年度 スローガン

## 一、チーム医療の推進 二、地球環境と調和した医療技術の向上 三、生涯教育・専門教育の推進

## 2013年 OCT CONTENTS

### 目次

診療放射線技師のための接遇規範	4
巻頭言 変化と変動	5
会告1 第50回きめこまかな生涯教育	6
会告2 地球環境保全活動（荒川河川敷清掃活動）	7
会告3 第16回メディカルマネジメント研修会	8
会告4 第15地区研修会（第26回日暮里塾ワンコインセミナー合同開催）	9
会告5 平成25年度第3回静脈注射（針刺しは除く）講習会	10
公益社団法人日本放射線技師会の勤続30年及び50年表彰について	11
お知らせ1 第6地区研修会	12
お知らせ2 第11地区研修会	13
お知らせ3 第3地区研修会	14
お知らせ4 第4地区研修会	15
お知らせ5 「TART」ロゴマーク募集	16
第64回公益社団法人東京都放射線技師会定期総会（抄）	17
平成24年度特別功労賞・功労賞（勤続20年表彰）・小野賞受賞者	26
第11回ペイシエントケア学術大会 特別講演 「小児の薬の飲ませ方 ～そのコツと管理～」	27
H25年度診療放射線技師のための「フレッシューズセミナー」および第23回日暮里塾ワンコインセミナー アンケート結果	29
こえ ・患者さんへ伝える医療被ばく「医療被ばくと管理」を受講して	31
NEWSひろい読み	32
パイプライン ・第22回日本消化管画像研究会臨床セミナー	34
・第26回胃X線検査レベルアップセミナー	35
・放射線障害防止法に基づく放射線管理実務講習会	36
・日本消化器画像診断情報研究会第5回セミナー（四国）	38
・第9回胃X線画像読影勉強会	39
・第8回総合健康づくりフェアー	40
平成25年7・8月期会員動向	42
登録事項変更届	47

### Column & Information

・お詫びと訂正	33
・学術講演会・研修会等の開催予定	44
・イエローケーキ	45
・東放技は積極的に参加します	45
・求人情報	46

# 診療放射線技師のための接遇規範

1. 検査に際しては明瞭で分かりやすい言葉（患者さんの分かる言葉）で話す。
2. 患者さんをお呼びするときは、性・名を確認する。
3. お年寄り、歩行困難、病状の悪い患者さんに対する検査室のドアの開閉は、特に技師がおこなう。
4. 検査室入室後は、患者さんから目を離さないようにする。
5. 自分の名前を名乗り、検査部位と撮影回数を説明し、患者さんの同意を得てから検査をおこなう。特に小児やお年寄りの方で検査介助が必要なときは、十分な説明をおこない同意を得てから検査の介助をしていただく。
6. 脱衣の必要な検査は、検査着に着替えていただく。検査の特殊性から脱衣が必要なときは、露出部をバスタオルなどで覆う。
7. 検査台の乗り降りは、原則として患者さんの手の届くところに技師がいる。
8. 検査手順を守り、患者さんの身体に手が触れるときは事前に同意を得てから触れる。
9. できるだけ短時間で検査を終了し、「お疲れさまでした」等の癒しの言葉を述べる。
10. 検査室から患者さんが退出するまでは技師の責任である。
11. 検査室は常に整理整頓、清潔であること。
12. 仕業（始業・終業）点検は毎日おこなう。
13. 検査部位ごとの被ばく線量はいつでも答えられるようにしておく。
14. 照射録は正確に記載する。
15. 医療人として患者さんから高い信頼を得られるよう努力する。

公益社団法人 東京都診療放射線技師会



# 巻頭言



## 変化と変動

会長 篠原健一

I P C C (Intergovernmental Panel on Climate Change) は日本では「気候変動に関する政府間パネル」と訳される。国際的な専門家をつくる、地球温暖化についての科学的な研究の収集、整理のための政府間機構である。数年おきに「評価報告書」(Assessment Report)を発行し“それは地球温暖化に関する世界中の数千人の専門家の科学的知見を集約した報告書であり、国際政治および各国の政策に強い影響を与えつつある”とされる。

2007年の第4次評価報告書では「気候システムの温暖化は疑う余地がない。…20世紀半ば以降に観測された世界平均気温の上昇は、人為起源の温暖化ガスの増加によるものである可能性がかなり高い(確率90%超)」とした。そしてその年に、1993年から2001年まで米国クリントン政権の副大統領を務めたアル・ゴアと共にノーベル平和賞を受賞した。

ちなみに“Change”は“変化”であり、オバマ大統領が前回大統領選挙の時に多用した。気象の用語では気候変化(Climate Change)と気候変動(Climate variationまたはClimate variability)は明確な区別があるので、本当は「気候変化に関する～」と訳さねばならないと思うが、何か意図的な誤訳の理由でもあるのだろうか？

I P C C も、2009年11月には「気候研究ユニット・メール流出事件(クライメイトゲート)」があり研究の不正が疑われたが、現在は公的機関による調査の結果、科学的にも疑念の余地がなく、新たな分析でも一致する結果が得られているという。それはともかくとして、地球温暖化(人類活動起因説)には以前から「懐疑論」が付きまとっていることも事実である。

「科学には不確かさがつきものである。特に地球環境に関する科学は、制御された条件で実物を使って実験ができる専門分野に較べて不確かさが残る。」(地球環境フロンティア研究センター・増田耕一理学博士～日経エコロジー2009・2月号)というように、I P C C の見解も「仮説」の一つに過ぎないとするのである。

懐疑論には種々あり代表的なものは、①そもそも温暖化は起きていない。②水蒸気・太陽活動が原因。③地球温暖化モデルは信用できない。④CO<sub>2</sub>増加は海面由来。⑤悟り(?)&温暖化歓迎。⑥すべて政治的陰謀。⑦もっと大事なことがある。etc…

人類の科学は発達したのではなく、温暖化(I P C C の説が正しいと仮定?し)も含めさまざまな地球環境問題を引き起こしていることを考えると、まだまだ未熟であるといわざるを得ない。

そこで、次のように考えてみたらどうだろうか？

→「自然を改造・支配することに人間の尊厳を見出してきた西欧近代的な“人間中心主義”でも、逆に人間を“地球のがん”とみて卑屈に人間を排除する“自然保護主義”のエコロジー思想でもない、第三の人間観と文明観を構築するチャンスを迎えている。」(地球の目線～環境文明日本ビジョン：竹村真一 PHP新書)

→「社会主義は経済の真実を市場に反映させなかったために崩壊した。資本主義は地球の生態系の真実を反映させないために崩壊するかもしれない。」(プラン B 3.0～人類文明をすくうために：レスター・R・ブラウン ワールドウォッチ ジャパン)

資源浪費型の社会、今以上に便利な世の中が必要だろうか？ CO<sub>2</sub>排出削減義務で汲々とするよりも『もったいない』『めんどくさがらない』『がまんする』という生活スタイルを身につけ、温暖化懐疑論に惑わされず環境活動を楽しめばよいのではないか。

人智のおよばない“変動”を乗り越え、自ら“変化”する人類の英知が試されていると思う。

「やがて来る機械文明を生きるには、人の心も進化させなければならない。」(エジソン)



## 第50回きめこまかな生涯教育

### テーマ「画像処理・画質評価」

講師：国立がん研究センター中央病院 永井 優一 氏

国立がん研究センター中央病院 北村 秀秋 氏

今回で50回目を迎える「きめこまかな生涯教育」は、新しい試みとして通常は3日間（4.5時間）で開催している企画を、土曜日の午後にまとめて行うことで、より高い学習成果を期待して実施します。多くの方の参加をお待ちしております。

#### ～プログラム～

- |             |   |          |
|-------------|---|----------|
| 14：00～15：20 | 「デジタル画像処理」                                    | 講師：永井 優一 |
|             | 周波数強調処理・空間フィルタについて説明し、フィルタの作成から臨床応用について実習します。 |          |
| 15：30～17：00 | 「画質評価 ―MTF―」                                  | 講師：北村 秀秋 |
|             | MTF の概要や計算について説明し、エクセル等を使用して手作業で計算します。        |          |
| 17：10～18：30 | 「画質評価 ―NNPS―」                                 | 講師：北村 秀秋 |
|             | NNPS の概要や計算について説明し、エクセル等を使用して手作業で計算します。       |          |

※各自PC を持参していただき、実習形式で行います。

#### 記

日時：平成25年10月12日（土）14時00分～18時30分（受付開始：13時30分）

場所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

アクセス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

受講料：会員3,000円、非会員10,000円（当日徴収）

申込方法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の研修会申し込み、または会誌9月号の研修会等申込用紙にて、事務所にFAXで申し込んで下さい。

カウント付与：日本診療放射線技師会生涯教育4.5カウント付与

問い合わせ：学術教育委員長 市川重司 E-Mail：[gakujitu@tart.jp](mailto:gakujitu@tart.jp)

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

## 地球環境保全活動 荒川河川敷清掃活動 「守ろう東京自然水」

これまで公益社団法人東京都診療放射線技師会では、第5地区を中心に環境をテーマにボランティア活動の一環として、富士山、富津海岸、日暮里駅前などの清掃活動を行ってまいりました。

今回は技師会事務所に程近い荒川河川敷にて、荒川クリーンエイドに参加して清掃活動を実施します。荒川の自然を守り、動植物に優しい河川環境を作ることを目的とした趣旨をご理解いただき、ふるって参加くださいますようご案内申し上げます。

### 記

日 時：平成25年10月20日(日) (受付開始 9時30分～)

作業時間：10時00分～12時00分 (予定) \*雨天の場合中止

場 所：荒川岩淵関緑地周辺 (岩淵船場近く)

\*現地集合になります。技師会スタッフジャンパーを目印にご参加ください。

交 通：JR赤羽駅東口下車 徒歩20分、東京メトロ南北線赤羽岩淵駅下車 徒歩15分

作業内容：河川敷の清掃活動

参加費：無料

会場主催：特定非営利団体 荒川クリーンエイド・フォーラム

後 援：国土交通省荒川下流河川事務所、北区 他

事故対策：荒川クリーンエイド・フォーラムがボランティア保険に加入しています。

そ の 他：参加団体は町会・自治会・ボランティア団体・小学校・企業など多数  
軍手、ごみ袋、トングはお渡しします。

昼食用に非常用保存食アルファ米の支給 (予定)

申込方法：参加希望の方は下記へお申し込みください。詳細な案内を連絡させていただきます。

問い合わせ：第5地区委員長代理 鈴木雄一 E-Mail：area05@tart.jp

以上

## 第16回メディカルマネジメント研修会 テーマ「次回診療報酬改定に向けての新たな論点」

講師：一般社団法人 日本画像医療システム工業会（JIRA）  
経済部会 部会長 野口 雄司 氏

診療報酬改定に向けて、診療放射線技師の業務の質的評価について幅広い議論が行われている。特に前回改定から大きく3つの保証に関わる視点で取りまとめており、この論点は制度の骨子に関わる内容でもあり次回以降も継続的に議論されるものである。

その概略は、

- ①「安全保証」／保守維持管理コストの明確化・明文化によるコスト吸収構造の根拠を示し、「医療機器安全管理料」の拡大と同時に「施設基準」適用拡大の必要性の拡張提言。
- ②「精度保証」／画像診断分野における高度化する「検像」に関わる画像の精度向上や管理運用の効率化を意図した「画像精度管理料」という新たな考え方の必要性の拡張提言。
- ③「運用保証」／コンピュータ断層撮影料における単なる機器の性能別評価ではなく、難易度を含めた、撮影技術を評価する、「基礎点数＋部位別疾病別加算点数」の導入と適正配置の拡張提言。

また、「安全・精度・運用」の総合的視点から、新たに線量管理の評価体系に関する議論も行われている。

### 記

日 時：平成25年11月14日（木）19時00分～20時30分

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア ク セ ス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

受 講 料：会員1,000円、非会員5,000円（当日徴収）※新入会員は無料ではありません。

申 込 方 法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の研修会申し込み、または会誌9月号の研修会等申込用紙にて、事務所にFAXで申し込んでください。

カウント付与：日本診療放射線技師会生涯教育1.5カウント付与

問い合わせ：学術教育委員長 市川重司 E-Mail：gakujiu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上



## 第15地区研修会

### 第26回日暮里塾ワンコインセミナー合同開催

#### テーマ「腹部単純撮影」

#### ～一般撮影・CT画像を中心に急性腹症の一次読影について～

講 師：東京都済生会中央病院 江田 哲男 氏

腹部単純撮影は検査（撮影）の位置づけとしてファーストチョイスで行われると言っても過言ではなく、医療現場では高い撮影技術と読影能力が要求されます。

今回は第15地区研修会と第26回日暮里塾ワンコインセミナーの合同開催で、腹部単純撮影について画像を用いて臨床現場に沿った講義をしていただく予定です。

多くの方の参加をお待ちしております。

#### 記

日 時：平成25年11月6日（水）19時00分～20時30分

場 所：帝京大学医学部附属溝口病院 二子管理棟 7 階講義室

住 所：神奈川県川崎市高津区二子5丁目1-3

ア ク セ ス：東急田園都市線高津駅 徒歩1分

東急田園都市線溝ノ口駅 徒歩10分・J R 南武線武蔵溝ノ口駅 徒歩10分

受 講 料：診療放射線技師500円、一般および新卒かつ新入会員ならびに学生 無料

申 込 方 法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の研修会申し込み、または会誌9月号の研修会申込用紙にて事務所にFAXで申し込んで下さい。

問い合わせ：第15地区委員長 原子 満 E-Mail：area15@tart.jp

学術教育委員長 市川重司 E-Mail：gakujitu@tart.jp

公公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上





## 平成25年度第3回静脈注射（針刺しは除く）講習会

主催：（公社）日本診療放射線技師会

実施：（公社）東京都診療放射線技師会

厚生労働省「チーム医療推進方策検討ワーキンググループ」において、診療放射線技師の業務範囲の見直しに関する検討が行われ、「CT、MRI検査等において造影剤投与終了後の静脈路の抜針および止血をおこなうこと」が取り上げられ、十分な教育・研修を行うことを条件に実施できる方向で検討されています。これに伴い、平成24年度より静脈注射（針刺しは除く）に関する講習会を公益社団法人日本診療放射線技師会主催、公益社団法人東京都診療放射線技師会実施で開催しております。今年度第3回目の講習会を開催いたします。

### 記

日 時：平成25年11月10日（日）9時55分～（受付開始9時30分～）

場 所：東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア ク セ ス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

受 講 料：会員2,000円 非会員8,000円

申 込 方 法：JART情報システム内のイベント申し込みメニューからお申し込みください。

注）東放技事務局へのFAXおよび東放技HPからの申し込みは出来ません。

受講料振込等：申し込み後、日放技より振込み先の案内があります。

講習会修了基準：次のいずれかに該当する場合は、修了とみなしません。

ア）講習時間（5時間）に対し、欠課の合計時間が45分を超えた場合

イ）欠課が15分を越えたコマが1つでもあった場合

生涯学習カウント：修了者は「学術研修活動」カウントが付与されます（Basicカード以上の保持者のみ）

締 め 切 り：平成25年10月27日（定員になり次第締め切り）

以上

### プログラム

限	時 間	科 目	講 師
	9:30～	受付	
	9:55～ 10:00	開会のあいさつ、注意事項の説明	
1	10:00～10:45	静脈注射に関する診療放射線技師の法的責任 （絶対的医行為、相対的医行為）	診療放射線技師
2	10:45～11:30	薬剤（造影剤）に関する知識 （造影剤の基礎知識）	薬剤師
3	11:30～12:30	静脈注射と感染管理 （静脈注射の清潔操作、血管留置カテ（BSI）感染防止、 針刺し事故対策）	認定看護師
	12:30～13:30	休憩	
4	13:30～14:30	合併症への対応 （アナフィラキシーショック、静脈炎、血管外漏出、 RSD、抜針時の注意）	医師
	14:30～14:45	休憩・会場設営	
5	14:45～16:15	抜針の実習・確認試験 （シミュレータを用いた演習（実技）、確認試験）	看護師 診療放射線技師
	16:15～16:30	修了証授与・閉会のあいさつ	

# 日本診療放射線技師会の 勤続30年及び50年表彰について

渉外委員会

日本診療放射線技師会より本会に対し、標記について永年勤続表彰該当者の推薦依頼がありました。

今年度の資格到達者は本会で調査いたしますが、調査漏れなどにより平成25年10月5日までに本会から連絡がない方、または前年度までに資格到達された方で受賞の意思のある方は、お手数ですが平成25年10月15日までに東京診療放射線技師会事務所までご連絡くだされば幸甚に存じます。

## 規程内容分旨

### 【勤続30年表彰】

1. 平成26年3月31日現在において放射線業務に従事して勤続30年以上であること（診療エックス線または診療放射線技師免許取得が昭和59年3月31日以前の方）
2. 平成11年3月31日までに入会し引き続き日本診療放射線技師会会員であること（15年以上継続会員）
3. 表彰される年度（25年度）までの会費を完納していること
4. 会の名誉を傷つける行為のないこと
5. 過去において同じ表彰を受けたことがないこと

※ 会員番号19622番までの方 旧教育会館設立のための出資または寄付をされていない方は日本診療放射線技師会に金2万円の寄付が必要です（30年表彰のみ）。

会員番号19623番以降の方は、上記 ※ の対象外（寄付がなくても推薦の対象となります）です。ですのでお間違いのないようお願いします。

### 【勤続50年表彰】

1. 前記勤続30年表彰（旧25年表彰）を受けた者で、引き続き50年に達するまでの間、会員として在籍し会費を完納した方
2. 前項4および5に同じ

### \*必要書類

日本診療放射線技師会指定の履歴書

以上

## 第6地区研修会

### テーマ：東京都における災害廃棄物の受け入れについて

講 師：東京都環境局廃棄物対策部一般廃棄物対策課長 今井 正美 氏

2011年3月11日の東日本大震災による、東京電力福島第一原子力発電所で放射性物質流失を伴う原子力事故が発生しました。それに伴い、私たちの同職種または同分野の先生方が、メディアや各地域・施設にて情報提供や国民の不安解消に活躍されました。また、災害現場や避難所でサーベイ・ボランティアなどを行ったことは記憶に新しいところでもあります。

さて、東北地方の復興が進むなか、震災における<sup>がれき</sup>瓦礫はどうなったのでしょうか？

東京都も瓦礫の引き受け・処理を行っていますが、実際にはどんな瓦礫を、どのように対応・処理されたのか詳しく理解をしておりません。

このたび、東京都環境局の今井氏をお招きして、分かりやすく解説していただきます。

復興支援を都民としてどう考え、診療放射線技師として何をしなければならないのか、皆さまと一緒に考えたいと思います。ぜひ、一般の方や医療スタッフの皆さまをお誘いの上、ご参加ください。

#### 記

日 時：平成25年11月8日（金）19時00分～20時15分（受付開始：18時30分～）

場 所：公益社団法人 東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア ク セ ス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

受 講 料：診療放射線技師500円、一般・新卒かつ新入会員ならびに学生 無料

情報交換会：近隣にて（当日ご案内いたします）

申 込 方 法：下記の方法からお申込みください。

①東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の研修会・イベント参加申し込みフォームから登録して下さい。

②会誌9月号の研修会等申込用紙にて事務所にFAXで申し込んでください。

問い合わせ：第6地区委員長 岡部博之 E-Mail：[area06@tart.jp](mailto:area06@tart.jp) 新葛飾病院：03-3697-8331

以上



## 第11地区研修会 テーマ「上肢の一般撮影」

近年CTやMRIなどさまざまなモダリティによる画像診断が行われていますが、一般撮影はいまだに画像診断の基本となる大切な検査です。今回の研修会では上肢撮影にスポットを当て、撮影の基本から痛みや骨折などによりポジショニングが難しい場合の対処法などを講演していただく予定です。多くの皆さまの参加をお待ちしております。

なお、講演に先立ち株式会社島津製作所にトモシンセシスを含む、最新の一般撮影システムの紹介をしていただく予定です。こちらもぜひご参加ください。

### —プログラム—

- 18:30 「最新一般撮影システム及びXTVトモシンセシスの紹介」  
株式会社島津製作所 グローバルマーケティング部 武尾和宏 氏
- 19:00 「上肢撮影のここがポイント ～上肢一般撮影の基本と臨床応用～」  
春日部市立病院 放射線科長 工藤年男 氏

### 記

日 時：平成25年11月29日（金）18時30分～20時30分（受付開始18時10分～）

会 場：東邦大学医療センター大橋病院 教育棟1階臨床講堂

交 通：東急田園都市線 池尻大橋駅下車 徒歩6分

：京王井の頭線 駒場東大前駅下車 徒歩10分

※ 詳細は東邦大学医療センター大橋病院HPをご覧ください

受 講 料：診療放射線技師 500円

一般・新卒かつ新入会員ならびに学生 無料

申込方法：area11@tart.jpのアドレスへ氏名・地区・勤務先をお知らせください。もしくは、東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の研修会申し込み、または会誌の研修会等申込用紙にて、事務所にFAXでお申し込みください。※当日参加も歓迎いたします。

問い合わせ及び連絡先：

第11地区委員長 千葉利昭 E-Mail：area11@tart.jp

東邦大学医療センター大橋病院 放射線部

TEL 03 (3468) 1251 内線3235



以上



# お知らせ 3

## 第3地区研修会

### テーマ「胸部CTティーチングファイルーここがポイントー」 肺結核と肉芽腫性肺疾患

講 師：東京医科大学病院 朴 辰浩 氏

昨年に引き続き胸部CT画像を取り上げたいと思います。内容は肺結核と肉芽腫性肺疾患です。

古くて新しい肺結核と、真菌やサルコイドーシスなどの肉芽腫形成を伴う肺疾患を、胸部単純写真を振り返りながら分かりやすく教えていただきたいと思います。

クリニック、検診施設の方など多くの方々の参加をお待ちしています。

#### 記

日 時：平成25年12月3日(火) 19時00分～20時30分(受付開始18時30分)

場 所：東京医科大学病院 研究教育棟3階第1講堂

〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-7-1

ア ク セ ス：丸の内線西新宿駅1分、JR新宿駅西口より徒歩11分

受 講 料：診療放射線技師 500円、一般・新卒かつ新入会員ならびに学生 無料

申 込 方 法：東放技ホームページ (<http://www.tart.jp/>) からの研修会申し込み、または下記メールアドレスへ氏名・地区・勤務先を記載の上、件名「第3地区研修会」にてお申し込みください。

情報交換会：会費4000円 予約の都合上、参加希望者はメールにてご連絡ください。

問い合わせ：第3地区委員長 平瀬繁男 E-Mail：area03@tart.jp

東京医科大学病院 放射線部 TEL：03-3342-6111 (PHS63317) ※16時以降

以上



## 第4地区研修会

### テーマ「いまさら聞けないMRIの安全管理」

講師：東京都済生会中央病院 放射線技術科 江田 哲男 氏

昨今のMRI撮影は全国的にも増加傾向にあり、当直業務などの非日勤対応者や新人技師、ローテーターが撮影を行う機会が増えてきております。そこで、日々の検査をより安全に行っていくために、これから撮影を始める新人技師の教育を基本に、条件付きMRI対応ペースメーカーなどの新たなデバイスの導入についても講義していただきます。

本研修会を通して安全な検査への確立を図り、われわれの今後の活動や、より専門性の高い情報提供に役立てたいと考えております。

会員、非会員に関わらず多数のご参加をお待ちしております。

#### 記

日 時：平成25年12月13日(金) 19時00分～(受付開始18時30分)

場 所：東京都済生会中央病院 新棟7階第1会議室

参 加 費：診療放射線技師 500円

一般・新卒かつ新入会員ならびに学生 無料

申込方法：氏名・地区名・勤務先を記載の上、メールアドレスarea04@tart.jp でお申し込みください。

もしくは東放技ホームページ (<http://www.tart.jp/>) の研修会等申し込みフォームより、主催“第4地区”を選択してお申し込みいただくか、会誌の研修会等申込用紙にて、事務所にFAXでお申し込みください。

問い合わせ：第4地区委員長 高橋潤一郎 E-Mail：area04@tart.jp

虎の門病院 放射線部 TEL 03-3588-1111 (内3832)

以上



# お知らせ 5

## 「TART」ロゴマーク募集

東京都診療放射線技師会では、本会および本会の活動をより効果的にPRするための一環として、東京都診療放射線技師会“Tokyo Association of Radiological Technologists”の略称「TART」のロゴマークを作成することになりました。

そこで、皆さまから広くデザインを募集いたします。採用された方には、薄謝を進呈いたします。

**募集期間：**平成25年10月1日(火)～11月30日(土)

**募集内容：**TARTの文字を加工したロゴマーク。カラー・モノクロどちらでもかまいません。未発表のものに限ります。

**応募資格：**特に問いません

**応募方法：**郵送またはFAXの場合

A4用紙に、ロゴマークのデザイン、住所、氏名（ふりがな）、電話番号を記入し、下記宛にご送付ください。

E-Mailの場合

件名は「TARTロゴマーク公募について」としてください。

本文中に住所、氏名（ふりがな）、電話番号を記載し、作成したデザインはJPEGまたはGIFにて添付し、下記アドレスまで送信してください。

**選考：**本会運営委員会で選考し、結果は本人に通知、および会誌「東京放射線」・ホームページにて発表します。

**注意事項：**・採用されたロゴマークの著作権その他一切の権利については、本会に帰属するものとします。

・応募いただいた作品は、返却いたしません。

・デザインについては、色彩などを一部修正して使用する場合があります。

その他ご不明な点がございましたら、下記までメールにてお問い合わせください。

**お問い合わせ・応募先**

公益社団法人東京都診療放射線技師会

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

TEL・FAX 03-3806-7724

E-Mail tart@tart.jp 担当：安宅

# 第64回公益社団法人東京都診療放射線技師会定期総会(抄)

平成25年6月22日(土) 会場:日暮里サニーホール

司会 石田総務委員長

第64回公益社団法人東京都診療放射線技師会定期総会を開会致します。

まず平成24年度物故会員へ黙祷をささげた

いと存じます。皆さまご起立願います。

黙祷

ご着席ください。それでは篠原健一会長よりごあいさつを申し上げます。

**篠原東京都診療放射線技師会会長** 皆さま、こんにちは。本日は週末の土曜日、皆さまの貴重な時間にもかかわらず多くの方にご参集いただきありがとうございます。またご来賓の先生方には大変ご多忙のなか、ご臨席いただきありがとうございます。通算64回、公益になって2回目、実質年1回の開催になり初めての総会です。今日は事業報告、決算報告、監査報告、事業計画、予算案と審議よろしくお願ひします。技師会からいくつか話があります。その中ですでに数年来お話ししておりますが、2010年4月に現行の法律の下でも診療放射線技師が読影補助、また検査の説明ができると出されておりますが、さらに普及させるべく努力をしまいたいと考えております。さらに2011年11月には業務範囲の拡大ということでCT・MRIなどの静脈注射の抜針、止血も答申はされておりますが、今現在、正式に通知などはされておられません。これは先日の日本診療放射線技師会の総会でも中澤会長がおっしゃっていましたが、「昨年の国会では政局の混乱で先送りになったが、本年の通常国会でもたぶん審議ができない状態であり、秋の臨時国会でもたぶんダメだろう。ただし、この件は先送りになって廃案になることではない」中澤会長の予想では来年の通常国会、1月下旬に召集されるようですが、ここで審議されるように働き掛けていくということでしたのでしばらくお待ちいただきたい。またそれに伴う安全講習会は、全国各地域、東京都診療放射線技師会でも行っております。積極的に参加していただきたいと思います。

次に、われわれがテーマにしております、国民の健康増進と技師法の改正です。一つ事例を挙げますと、今年に入って山口県で移動検診車の業務で医師が同乗していないのは違法でないかと言われ、厚生労働省がそれに対して診療放射線技師法第26条に抵触するという見解を出し、山口県



石田総務委員長

では現在できない状態になっています。これは住民の皆さんの不利益になっております。実体と法律が合っていないので、実態に合わせてしっかり法改正をしていかなければならないと以前からこういう活動はしているのですが、このへんもわれわれはしっかり取り組んでいきたいと思ひます。もちろん厚生労働省との交渉の窓口は日本診療放射線技師会ですが、政治的な動きも重要になってきます。この辺の技師法改正あるいは日本診療放射線技師会(JART)の政策、われわれを含めてJARTの政策を実現するべくいくつかの動きがあります。

われわれの仲間である診療放射線技師がこの夏の参議院選に立候補致します。診療放射線技師の仲間から議員になれば政治的な動きがもっと確実にできる。

また、診療放射線技師ではないのですが、われわれの政策を受け入れてくれている現職議員の方もいます。3月21日に中澤会長とわたしで参議院議員会館の武見



篠原会長

敬三さんを訪ねました。JARTの政策を示し、受け入れていただきました。今後、議連を作って第26条の法改正を含めてJARTの政策を推進していくと約束してくださいました。

この政策というのは八つございます。項目だけを読みますけれども、1) がん対策推進基本計画に基づく診療放射線技師育成の充実と環境整備 2) チーム医療を推進するための診療放射線技師の活用について 3) 医療安全のための放射線の適切な管理体制の構築 4) 医療安全のための放射線機器の適切な管理体制の構築 5) 養成教育の4年制大学化への移行と教育内容を抜本的見直しに伴う卒後臨床研修の制度化 6) 緊急被ばく並びに医療被ばくへの対応要員として専門官の配置について 7) 放射線の教育・普及啓発活動に対する診療放射線技師の活用 8) 診療放射線技師法の改正について 特に第26条の改正。具体的には医師の指示とか医師の立ち会い、山口県で止まっているようなことに対応する法律改正を政策として提示しています。

先ほどわれわれ診療放射線技師の仲間が立候補するという話をしましたが、畦元将吾さんが比叅区に立候補します。われわれの政策を持っていき、受け入れてくれた武見敬三



さんは東京選挙区です。

皆さまのそれぞれのお立場で協力できる方、支援できる方は積極的にご支援していただきたいと思います。

また現在、アベノミクスの三本の矢の3本目に成長戦略があります。その成長戦略の中に医療が重要な位置付けになっています。日本の高度な医療機器の海外への展開、技術、人材。その中にはわれわれ診療放射線技師という人間の海外への展開を見据えていかなければならないと思います。

すでに今年度の予算執行が始まっている部分もあります。が、忌憚のないご意見を頂いて総会を盛り上げていただきたいと思いますのでよろしくお願いします。本日はご参集ありがとうございます。

**司会** 次に、ご来賓よりご祝辞を賜りたく存じます。

公益社団法人日本放射線技術学会東京部会総務理事 飯田紀世一さまよりお願いいたします。

**飯田 日本放射線技術学会東京部会総務理事** 本日はお招きいただきまして誠にありがとうございます。ただいまご紹介にあずかりました公益社団法人日本放射線技術学会東京部会総務理事を務めさせていただきます。本来であれば部会長の江島がご祝辞を申し上げるべきですが、所用のため欠席させていただきます大変恐縮ではございますが代理で祝辞を申し上げます。



飯田東京部会総務理事

本日は、東京都診療放射線技師会定期総会を盛大に開催されましたことを心よりお喜び申し上げます。また日頃より技術学会東京部会のご支援賜りましてこの場をお借りして感謝申し上げます。皆さまご多忙中にもかかわらずご出席され、会を運営されていることを拝見いたしまして本当に東京都診療放射線技師会というのは強靱な組織力を持っているとつくづく思いました。

さて、ちょっと時間を頂きまして東京部会のご紹介をさせていただきます。私ども東京部会は学術事業の充実を第一目標に掲げ、本年度ならびに平成26年度以降続けて学術事業、執行体制を変えていこうと10の執行委員会、12の研修班で総力を持って取り組んでおります。医療現場における放射線医療技術の確立に向けて東京部会の役割を検討し、また今度立ち上げました部会組織特別検討委員会なるものを中心に多くの委員、班員、理事を持って横断的視点から学術事業そして部会の組織・編成・運営に取り組んでいるところでございます。

本年度は部会フォーラム、部会セミナー、学術大会、多数の学術事業を予定しています

皆さまぜひご参加していただければと思います。また関東部会と10年ぶりとなります関東東京合同研究発表会2013を

一ツ橋講堂で12月14日～15日の2日間にわたりまして開催すべく実行委員会で進めていますので、なにとぞこちらもご参加いただければと思います。また部会単独事業ではなく、皆さまご承知の通り東京都診療放射線技師会と共催という形で学術講演会を開催させていただいております。こちらは今年の9月19日木曜日に開催を予定となっておりますが、本年度で13回を迎えます。回を重ねるごとに盛大な会となっております、これも東京都診療放射線技師会のご尽力のたまものと感謝申し上げます。

最後になりますが、東京都診療放射線技師会のますますのご発展と、ここにおいでのか皆さま方と会員の皆さま方のご健勝を祈念しまして定期総会への祝辞とさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。

**司会** 飯田さま、ありがとうございました。

本日はご来賓として公益社団法人日本看護協会専務理事 山本ともこさまにもご臨席を賜っております。

会場の皆さま、温かい拍手をお願いします。

後ほど、公益社団法人日本診療放射線技師会副会長 井戸靖司さまよりご祝辞を賜る予定です。

総会議事に先立ち、表彰を執り行います。平成24年度における小野賞・永年勤続表彰・学術奨励賞の表彰および今年から創設した特別功労賞の贈呈を執り行います。担当理事お願いいたします。

#### 【表彰】

**大室渉外委員長** それでは、本会表彰規定により平成24年度表彰を行います。表彰規程第2条2項により特別功労賞の表彰を行います。

受賞者は東京都診療放射線技師会前会長の中澤靖夫さんです。中



大室渉外委員長

澤さんは会長を平成11年から22年まで12年の永きにわたり勤め、この間財政の立て直し、ペイシエントケア学術大会の開催など、東京都診療放射線技師会の発展に多大な貢献をされました。その功績をたたえ理事会の決定により表彰致します。

中澤靖夫さんは本日所用のため欠席です。代理の石田さん壇上にお上がりください。



特別功労賞（代理授与）

〈会長より賞状と記念品の授与〉

小野賞の表彰に移ります。表彰規程第2条第4項により小野賞の受賞者の方々をご紹介いたします。小野賞は多年にわたり技師会地区活動ならびに地域医療に貢献された方々を対象に、各地区からの推薦により贈られます。本年度小野賞受賞の7名の皆さまをご紹介致します。

第6地区氏原英幸さん、第9地区矢野孝好さん、第10地区杉本羊右さん、第12地区篠田 浩さん、第14地区安藤一哉さん、第14地区内山秀彦さん、第16地区金場敏憲さん、7名を代表して金場敏憲さん壇上をお願い致します。



〈会長より賞状と記念品の授与〉

表彰規程第2条第1項により功労賞、通称勤続20年表彰の方々をご紹介致します。

雨宮幸夫さん、齊藤謙一さん、小林雅治さん、宅石 修さん、根本道子さん、松本 亘さん、渡辺靖志さん、浅沼雅康さん、岡部博之、佐藤久弥さん、埜 賢一さん、大地直之さん、白石太郎さん、中田真路さん、隅田真光さん、内藤 清さん、札元将史さん、平木仁史さん以上18名です。代表して雨宮幸夫さん壇上をお願い致します。



〈会長より賞状と記念品の授与〉

続いて学術新人賞、学術奨励賞の表彰ですが、担当の市川理事に変わります。

**市川学術教育委員長** 平成24年度学術奨励賞、学術新人賞、この新人賞は昨年制定され今回第1回の表彰です。

平成24年度学術新人賞は演題名「放射線技師による読影業務の検討の試み」発表者、佐



藤 彩さん、所属施設聖路加国際病院附属クリニック・予防医療センターです。選考理由と致しまして、厚生労働省医政局長通知を受け、診療放射線技師の読影の取り組みがなされている施設が多く見られます。そのようななか、診療放射線技師による読影が診断に有意であるところを示したことは、有効性を裏付ける大きな理由の一つとなっております。診療放射線技師の読影が恒常的になるための先駆的な研究と思われます。今後、さらなる分析を重ねた研究報告を期待し、学術新人賞を授与いたします。おめでとうございます。壇上へどうぞ。



〈会長より賞状と記念品の授与〉

平成24年度学術奨励賞を発表します。演題名「磁性体器材による外科用イメージ透視画像の歪みの検討」所属施設は帝京大学医学部附属溝口病院、発表者池田麻依さんです。選考理由と致しまして、本発表は手術器材による移動型外科用イメージ画像の歪み現象は意外と知られておらず、発生原因に関しては材質や使用状況などが挙げられます。一方、明確な検討がされたことはなく不透明な部分が多かったのですが、今回の検討により歪の原因が明確になりました。対策も多方面から幅広く情報を取り入れて検討しており、大変有意義な研究報告と思われます。今後、装置間の違いなどさらなる研究報告に期待し、学術奨励賞を授与いたします。おめでとうございます。池田麻依さん壇上へどうぞ。



〈会長より賞状と記念品の授与〉

**大室渉外委員長** 各賞受賞者の皆さまおめでとうございます。総会終了後記念写真を撮影しますので終了後お集まりください。また、各賞受賞者の皆さま、賞状、記念品をお渡ししますので後ほど受付においでください。表彰は以上でございます。



**司会** 受賞者の皆さまおめでとうございます。

ただいま到着されましたご来賓の公益社団法人日本診療放射線技師会副会長 井戸靖司さまよりご祝辞を賜わりたく存じます。

**井戸日本診療放射線技師会副会長** まずもって遅れたことをお詫び致します。それと同時に東京都診療放射線技師会総会のご盛会おめでとうございます。本来ですと日本診療放射線技師会中澤会長のお膝元でございますので中澤会長がここで話することになっておりましたが、皆さまご存知の通り今診療放射線技師会として大きな選挙を戦おうとして、現在関西の方に中澤会長は行っておりまして私が代理として今日ここに馳せ参じました。東京都には縁があるのですが、中澤会長とコンビである限りここに立つことはないだろうと気楽に思っていたのですが、たぶんもしかしてこれが最初で最後になるかもしれませんが、本当に東京都診療放射線技師会の皆さまには、私個人的にもお世話になったことにお礼したいと思います。ここで中澤会長ですと三つのお話が出るわけですが、時間の都合もありますので今日は一つだけに絞らせていただきます。



井戸日放技副会長

今、本当に診療放射線技師の進行を見てみますと、ここ2、3年が大きな山場ではないかと思うつくづく思っています。というのは検診車の問題などありますが、ここで闘っていく政治家をつくること、もう一つは今、私たちが置かれている立場、本当に診療放射線技師の仕事って機械と共に発達してきた歴史があるのですが、ここに来て機械とは関係のない世界で大きな飛躍ができる時に来ているのではかと思っています。CT、MRができて、その度に大きくジャンプをしてきたのですが、今度は私たちの腕で大きくジャンプをする時に来ているかと思っています。それをうまく着地させられるかどうか、ここ2、3年の力ではないかと思えます。失敗すると何がでてくるかといいますと、結構診療放射線技師ではなくて、理工系大学を出た医学物理士がどうしても必要じゃないかという声がでてきてしまう…。ここはぜひ診療放射線技師の力でうまくランディングさせると同時にそれができるのは会員個々の研鑽が必要になってきます。これから私たちが社会に対する影響をどうやって持っていくか、この二つができることによって、もう一つ上の診療放射線技師を目指すのではないかと思います。これらのことを皆さんと進めていきたいと日本診療放射線技師会も決意しておりますので、これからも東京都診療放射線技師会と私たちと一緒に手を組んで進めていきたいと思えます。本日はおめでとうございます。

**司会** 総会議事に移ります前に、ご来賓の方々のご退席致します。皆さま拍手でお送り願います。

## 【総会議事】

**司会** それでは、本総会の資格審査委員ならびに総会運営委員をご紹介します。

資格審査委員ならびに総会運営委員は総会運営規定により各地区から選出されております。資格審査委員として、内山秀彦さん、阿蘇敏樹さん、澤田恒久さん、芦田哲也さん、柏倉賢一さん、見廣藤嗣さん、田中志穂さん、野田忠明さん、大永貴弘さん、川崎奨太さん以上10名、資格審査委員長は川崎奨太さんです。よろしくお願いします。

次に総会運営委員として、中村真規さん、菊池 悟さん、今野重光さん、安藤猛晴さん、宇賀神哲也さん以上5名、総会運営委員長は宇賀神哲也さんです、よろしくお願いします。資格審査委員会報告を川崎奨太委員長より願います。

### 川崎資格審査委員長

資格審査委員会よりご報告申し上げます。平成25年6月6日、理事会承認時の正会員数は1,801名です。総会成立会員数は本会定款17条、



川崎資格審査委員長

第1項の規定により過半数の出席が必要です。過半数は901名以上であります。現時点での会員出席状況をご説明いたします。総会出席者数154名、書面表決数596名、委任状25名合計1,175名。従いましてこの第64回総会は成立することをご報告致します。資格審査委員長川崎奨太

**司会** 本総会の議長団を選出したいと存じます。会場より立候補の方いらっしゃいますか。

〈会場より立候補者2名〉

立候補された方は壇上の方へおいでください。それでは議長団よろしくお願い致します。

**議長団挨拶** 第12地区の伊藤です。第4地区の竹安です。

**伊藤議長** これより審議してまいります。

第1号議案・平成24年度事業報告案、第2号議案・平成24年度決算報告案、第3号議案・平成24年度監査報告案を私、伊藤が。第4号議案・平成25年度事業計画案、第5号議案・平成25年度予算書案を竹安副議長が担当致します。皆さまのご協力を頂き、議事を進めてまいりたいと存じます。どうぞよろしくお願い致します。

はじめに総会の運営について総会運営委員会報告を宇賀神哲也委員長より願います。

**宇賀神総会運営委員長** 総会運営委員会よりご報告申し上げます。

ただいまの時刻は5時10分です。これより、第1号議案・平成24年度事業報告の審議を5時10分



宇賀神総会運営委員長

より5時40分の30分間でご審議願います。次に、第2号議案・平成24年度決算報告の審議を5時40分より6時10分の30分間でご審議願います。第3号議案・平成24年度監査報告の審議を6時10分より6時40分の30分間でご審議願います。第4号議案・平成25年度事業計画の審議を6時40分より7時10分の30分間でご審議願います。第5号議案・平成25年度予算書の審議を7時10分より7時40分の30分間でご審議願います。会員の皆さまの活発なご意見とご協力をお願い致します。総会運営委員長宇賀神哲也

**議長** ただいまの報告について、異議はございませんでしょうか。

異議がないようですので、報告の通り議事を進めさせていただきます。

なお議事に入ります前に、総会職員の任命についてお諮り致します。

総会職員については、総会準備委員名簿がすでに総会資料に掲載されておりますが、この場で改めて議長団よりご指名し、皆さまの拍手をもって、承認を得たいと存じます。異議ございませんでしょうか。異議がないようですので、指名をさせていただきます。

はじめに、書記・写真・記録係として内藤哲也さん、岩井謙憲さん、森 美加さん、中谷 麗さん、平田充弘さん、柴山豊喜さん、高橋克行さん以上7名の方々です。会場係として高野修彰さん、松田紗代子さん、浅沼芳明さん以上3名の方々です。採決係として岡部圭吾さん、高瀬正さん、雨宮広明さん、河内康志さん、吉井伸之さん、長谷川雅一さん以上名6の方々です。最後に本日の議事録署名人は議長の伊藤、および全出席理事となります。

以上の総会職員について、拍手をもってご承認願います。ありがとうございます。

つづきまして議事の進め方についてお諮り致します。議案ごとに審議し、採決を行いたいと存じます。なお採決の方法は、反対、保留、賛成の順で挙手をもって行いたいと存じますが、異議ございませんでしょうか。異議がないようですので、議事に入ります。



【平成24年度事業報告】

第1号議案平成24年度事業報告を議題と致します。執行部より願います。

**会長** 平成24年度の事業報告は、会誌の5月号に載ってお

りますが総括を読ませていただきます。

平成24年度は、政権交代や山中伸弥・京大教授のノーベル生理学医学賞受賞など記憶に残る年であり、本会にとっても大きな変革・記念すべき年でありました。4月1日には公益社団法人への移行・登記を行い、5月の総会で組織名の変更（東京都放射線技師会→東京都診療放射線技師会）を行いました。また10月1日には東京都より功労者表彰（知事表彰）を受賞致しました。団体として受賞するのは本会が初のことであります。

一昨年（平成23年）の東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所災害による放射能汚染に対し、都内避難所における放射線サーベイボランティア活動が功労と評価されたことが主要な理由であります。その他にも災害直後の被災地避難所におけるサーベイ活動や、東京電力福島第一原子力発電所5・6号機救急医療室への人材派遣、被ばく相談なども受賞理由となりました。このことは、本会が放射線の専門職能団体として公益性を持って社会貢献できた証であります。本会は、昨年の活動・経験を語り継ぎ風化させないために、平成24年度より「災害対策委員会」を設置致しました。従来の放射線管理士部会の活動理念も合わせ、公益社団法人日本診療放射線技師会と連携を取りながら万々の事態に備え、この度の表彰を本会公益活動の励みとし、さらなる決意を持って一層の社会的責任を果たしていく決意であります。

なお同件に関して、厚生労働省からも「感謝状」を頂いています。会員・役員の皆さまの多大なるご協力にあらためて感謝申し上げます。

一昨年11月に「診療放射線技師の業務範囲拡大」について答申があり、CT・MRI検査などにおける留置針からの造影・抜針・止血、下部消化管検査におけるネラトンチューブの挿入・造影剤の注入など、実態として診療放射線技師が担っていた一部の医行為について「診療の補助」として法的根拠が付加され、RI関連装置なども「政令で定める装置」として明確に業務範囲に位置付けられることになりました。前政権による政局の混乱によりいまだに国会通過を見ていませんが、取り扱える範囲が広がるということは、職能としての責任も一層明確・重大になるということでもあります。このことによる国民の安全・安心な医療のために必要な研修・講習などについても、日本診療放射線技師会と連携しながら推進しております。

経済対策、TPP交渉参加、外交、領土問題なども政権交代により新展開を迎えつつあります。本会も平成24年度はスローガンとして1) チーム医療の推進、2) 地球環境と調和した画像診断技術の向上、3) 生涯教育・専門教育の推進、を掲げて活動を展開してまいりました。

また、「がん対策推進基本計画」「チーム医療推進」「医療安全」「生涯教育」「緊急被ばく及び医療被ばく」「技師法見直し」などにおける各種研究・学習を推進し、関係各団体・



監督官庁などへの要望を行いました。

私たちは、安心・安全そして納得できる医療技術の提供を求められています。常に最先端の医療技術を学び、Evidence（根拠）に基づいた医療技術＝EBMを提供する必要があります。EBMとは、①臨床的・科学的に確認されている。②施設・設備・時間などの制約を考慮している。③患者さん個別の事情や意思を尊重した総合的判断に基づいている。ということであります。昨年度も、各種認定技師・専門技師の育成を関連団体と連携しながら推進し、本部または各支部・地区主催の各種講演会、セミナー、勉強会を開催しました。

本年度も今まで以上に都民・国民のために会員のために本会の事業を推進する所存であり、皆さま方のより一層のご支援とご協力をお願い申し上げる次第であります。なお先ほど、診療放射線技師法第26条改正の件で触れましたが、昨年度末の3月26日に「診療放射線技師法第26条の改正に関する要望書」を日本診療放射線技師会、日本対がん協会、結核予防会、予防医学事業中央会の4団体で厚生労働省に要望書を提出しておりますことをご報告して平成24年度事業報告と致します。よろしくご審議お願いします。

**議長** これより質疑に入ります。発言者の方はスタンドマイクまでお願い致します。また、所属地区、氏名を述べてから、発言願います。質問に対しては執行部より回答いたします。

ございませんか。無ければ質疑を終わり、本件について採決を行います。採決係のみなさん準備願います。

反対の方、挙手願います。保留の方、挙手願います。賛成の方、挙手願います。賛成多数によって、平成24年度事業報告は原案の通り承認されました。



第2号議案の平成24年度決算報告を議題と致します。執行部より報告願います。

#### 【平成24年度決算報告】

**関経理委員長** これより平成24年度の決算報告をさせていただきます。

会誌5月号の32ページから40ページが第2号議案の決算報告となっております。まず32ページの貸借対照表よりご説明致します。これは法人の3月31日現在の財産状況を示しており、資産合計と負債および正味財産の合計とが一致し

ております。

事前に資料を配布しておりますので、特徴的なものについて説明し、金額については端数の読み上げを省略させていただきます。



流動資産の現金預金であります。当年度は前年度に比べ57万円ほど増加しております。これは、役員の皆さま方が節約志向で事業を推進したためと思われます。次に固定資産の特定資産に計上している建物と土地ですが、建物部分については前年度より67万円ほど減少しています。これは事務所の取得金額から経年的に減価償却されたものです。

次に負債の部になります。まず、前受会費は3月中に入金されたもので、収益ではなく負債として計上しています。通常は4月以降に請求しているため、前もって入金された会費は13万円とわずかとなっています。

長期借入金は、新事務所取得のためのもので、返済により222万円の減少となっています。以上により、当年度末の資産（負債及び正味財産の合計）は、8,172万円となっています。

次に33、34ページに正味財産増減計算書を示しております。またその内訳表を35、36ページに示しております。内訳表の右側に、参考のために予算との差異（A－B）を掲載しました。以下、主に内訳表で予算と差異がある箇所について説明させていただきます。

受取会費は、正会員と賛助会員を合わせますと137万円の減収となっております。最近の会員減少が影響していると思われます。

研修会事業収益は、大勢の皆さまの参加のご協力もあり、予算比で45万円の増収になりました。

親睦会事業収益はボウリング大会、新春のつどいになりますが、これは参加人数に影響を受けています。

経常費用に移りますが、事業費と管理費とに大きく分かれております。事業費は技師会の事業活動を推進するために使うもので、管理費は事務所運営や法人全般の管理に使う費用です。予算との対比で分かる通り、全体的には節約志向で活動しており、減少しているところが多く見られます。事業費から特徴のあるところを説明致します。消耗品費、雑費、印刷製本費、租税公課ですが、これらは公益社団法人化および名称変更のために予算より多くなりましたが、継続性はなく昨年度限りのものであります。

管理費では支払報酬が公益社団法人化および名称変更のため19万円ほど多くなっています。以上のような内容により、最終的に経常収益は2,686万円、経常費用が2,480万円となり、当期経常増減額が、プラス206万円となります。ただし、この206万円には会計基準の変更により計上している減価償却費115万円分が含まれます。減価償却費は計

上されていますが、購入した時に費用を支払っているもので、実際には現金預金の流出を伴わない費用です。

また当期の一時的な費用として、先ほどの公益法人化および名称変更の費用が含まれているため、実態として事業の損益はかなり節約となっております。以上で決算報告と致します。

**議長** これより質疑に入ります。ございませんか。無ければ質疑を終わり、本件について採決を行います。採決係のみなさん準備願います。

反対の方、挙手願います。保留の方、挙手願います。賛成の方、挙手願います。賛成多数、よって平成24年度決算報告は原案の通り承認されました。

第3号議案の平成24年度監査報告を監事より願います。

#### 【平成24年度監査報告】

**佐藤監事・乙井監事** 監査報告を致します。定款23条に基づき、平成25年4月22日（月）、東京都荒川区西日暮里2-22-1ステーションプラザタワー505号、公益社団法人東京都診療放射線技師会事務所において、平成24年4月1日から平成25年3月31日までの会計年度における業務および会計の監査を平成25年度の公益社団法人東京都診療放射線技師会会長、副会長、業務執行理事総務委員長、経理委員長、庶務委員長ならびに公認会計士立ち会いのもとに行った結果を下記の通り報告する。



記

#### 1. 監査の方法

##### (1) 事業

会長、副会長、総務委員長、庶務委員長らの説明により事業計画に基づいた事業の報告と関係書類の閲覧など、必要と思われる監査手続きにのっとり、業務執行の妥当性を検討した。

##### (2) 会計

経理委員長の説明により帳簿ならびに関係書類などを閲覧し、監査手続きにのっとり、会計簿と記載金額とが一致し、法人の収支状況および財産状況を詳細に監査した。

#### 2. 監査の結果

##### (1) 事業

平成24年度事業計画に基づき、事業ならびに会務の運営は順調に推進したことを認める。

##### (2) 会計

帳簿ならびに関係書類などを閲覧し、会計簿と記載金額とが一致し、法人の収支状況および財産状況を正しく示していると認める。以上。

平成25年4月22日監事乙井不二夫、監事佐藤清榮

**議長** これより質疑に入ります。ご質問いかがでしょうか。ございませんか。なければ質疑を終わり、本件について採決を行います。

採決係のみなさん準備願います。反対の方、挙手願います。保留の方、挙手願います。賛成の方、挙手願います。賛成多数によって、平成24年度監査報告は承認されました。



**竹安副議長** 第4号議案の平成25年度事業計画を議題と致します。執行部より説明願います。

#### 【平成25年度事業計画（案）】

**会長** 平成25年度事業計画（案）の総括を読みます。

総括 わが国やわれわれ医療界が以前から背負ってきた課題や新たに生じた課題が山積しています。エネルギー・環境問題、わが国および世界の経済情勢、東日本大震災被災地および原発災害からの復興、領土保全と安全保障、歴史に例のない超少子高齢化等々、課題が雨雲のように垂れ込めて、未来へと向かう空を覆っています。さまざまな問題を先送りにしてきたツケであることは言うまでもないが、何とかしてこの閉塞感を打破しなければなりません。

故武見太郎氏は「未来からの投影」という言葉を残しました。「賢者は歴史から学び、愚者は経験から学ぶ」とは鉄血宰相と呼ばれたドイツ帝国の初代宰相ビスマルクの言葉ですが、私たちは地球全体の動きも見据え、歴史から学びながら、将来・未来のあるべき姿から現在に投影された診療放射線技師・職能団体としての社会的責任を果たし、結果として国民また他の医療職種から信頼され必要とされ、チーム医療の重要な一員と認知されるべく活動していかなければなりません。診療放射線技師が一層の社会的価値として認められる職能となるために引き続き、1) チーム医療の推進、2) 地球環境と調和した医療技術の向上、3) 生涯教育・専門教育の推進、を展開していきます。

2010年4月に「診療放射線技師が現行制度の下で実施することができる」とし、①画像診断における読影の補助を行うこと。②放射線検査などに関する説明・相談を行うこと。との厚生労働省医政局通達が出された。「診療放射線技師を積極的に活用することが望まれる」とあり、チーム医



療の重要な一員として位置づけられています。このことは、さらなる卒後教育・生涯学習の必要性が求められていることでもあります。また、2011年11月には厚生省チーム医療推進会議において「診療放射線技師の業務範囲拡大」について審議・答申があり、CT・MRI検査などにおける留置針からの造影・抜針・止血、下部消化管検査におけるネラトンチューブの挿入・造影剤の注入など、実態として診療放射線技師が担っていた一部の医行為について「診療の補助」として法的根拠が付加され、RI関連装置なども「政令で定める装置」として明確に業務範囲に位置付けられることになっています。このことによる国民の安全・安心な医療のために必要な研修・講習などについても、職場や技師会などにおいて取り組むことが求められています。

高性能化・多様化する医療機器、高度化する医療技術を学ぶ機会を供するとともに、エビデンスに基づいた医療技術を発展・普及させていかなければなりません。それには広告のできる認定技師制度、領域別読影専門技師の育成、業務の診療報酬への反映、関連法令の改訂など、政策立案が必要であり、診療放射線学の発展に寄与すると共に生涯教育・専門教育・各種認定・業務範囲の拡大に伴う研修など、公益社団法人日本診療放射線技師会をはじめとした関連団体と適切に連携・協力しながら推進していく所存であります。

また都内各所で開催される行政祭りなどにおいて、被ばく相談、各種検査受診の啓発や不安解消、骨密度測定、乳がん触知体験、ピンクリボン運動への参加など、都民の中に入っていく公益事業も支部を中心に引き続き推進してまいります。

本会は公益社団法人として一層の社会性・公益性のある事業を推進しなければなりません。会員および診療放射線技師の資質を高め、それを医療の現場で積極的に活用していくことは国民のため、チーム医療推進のためであります。そしてそれをいかに表現していくかが重要であります。

会員の皆さま方のより一層のご支援とご協力をお願いする次第であります。

ご審議よろしく申し上げます。

**副議長** これより質疑に入ります。質問のある方は挙手お願いします。

〈会場から〉

**名古会員** 第11地区の名古安信と申します。日頃われわれ診療放射線技師会の業務にあたりいろいろありがとうございます。総括でお伺いたいことがあります。業務の診療報酬への反映とありますが、具体的にはどのように診療報酬の中に反映されるのか、あるいは現



名古会員

状そのような立案があるのなら簡単に結構ですから説明していただきたいと思います。

**副議長** 執行部お願いします。

**会長** 診療報酬改定の会議に日本診療放射線技師会から北村理事などが出席してわれわれの業務が適切に診療報酬に反映されることを求めているということで、具体的に個別の事例をお話してできる段階ではありませんが、診療放射線技師の業務範囲の拡大に伴う社会的認知度が上がるということは診療報酬に反映していく活動を継続していく必要があります。

**名古会員** ありがとうございます。われわれの業務が国民の皆さまに認められるような評価が得られるようにと希望します。

**会長** 厚生労働省の窓口は日本診療放射線技師会ですので、皆さんの意見を厚生労働省伝えるために活動してまいりますので忌憚のない意見をお寄せください。

**副議長** 他にございませんか。無ければ質疑を終わり、本件について採決を行います。採決係のみなさん準備願います。反対の方、挙手願います。保留の方、挙手願います。賛成の方、挙手願います。

賛成多数、よって平成25年度事業計画は原案の通り承認されました。



会場風景

第5号議案の平成25年度予算書を議題と致します。執行部より説明願います。

【平成25年度予算（案）】

**関経理理事** 平成25年度予算書をご提案させていただきます。

会誌5月号の51ページから52ページが、第5号議案の平成25年度予算書（案）となっております。一番上の行を横に見ていただくと、公益目的事業会計、収益事業等会計、法人会計に分かれており、その合計が右から3番目の予算合計（A）になります。その右側に参考として前期予算（B）と差異（A－B）を掲載しました。この3列を見ていただきご説明致します。事前に資料を配布していますので、特徴的なものについて説明し、金額については端数の読み上げを省略させていただきます。

51ページ上半分ですが、1、経常増減の部（1）経常収益で本会の収入を示しています。受取会費ですが、会員およそ2,000名弱ということで、正会員と賛助会員で1,950万

円計上しております。

その他の事業収益、受取寄付金、雑収益については、前期予算とほぼ同額を計上しております。

次に51ページ下半分と52ページにかけての、(2) 経常費用、つまり支出をご説明致します。前期予算との対比で分かる通り、全体的にはマイナス(△)となっており節約志向での活動を目指して、減少しているところが多く見られます。次に事業費から特徴のあるところを説明致します。印刷製本費については、過去の雑誌や資料の電子化を見込んだ費用、諸謝金については、講習会の増加による講師料の費用のため増額しています。最終的に経常収益は2,518万円、経常費用が2,511万円となり、当期経常増減額が7万円となります。以上、平成25年度予算書をご提案いたします。

**副議長** これより質疑に入ります。質問のある方挙手をお願いします。無ければ質疑を終わり、本件について採決を行います。採決係のみなさん準備願います。

反対の方、挙手願います。保留の方、挙手願います。賛成の方、挙手願います。賛成多数、よって平成25年度予算

書は原案の通り承認されました。

以上をもちまして第64回定期総会の議事を終了させていただきます。

ただいまをもって議長団を解任させていただきます。皆さまのご協力に感謝申し上げます。

**司会** 伊藤議長・竹安副議長ありがとうございました。滞りなく審議を終了し、改めて感謝申し上げます。葛西副会長より閉会のごあいさつを申し上げます。

**葛西副会長** 皆さん長時間ありがとうございました。予算書の中でも会員が減っているということです。ぜひ皆さん会員を増やす努力をしていただきたい。われわれも努力致します。

第64回公益社団法人東京都診療放射線技師会定期総会どうもありがとうございました。

**司会** 以上をもちまして、第64回公益社団法人東京都診療放射線技師会定期総会を終了させていただきます。





# 平成24年度 特別功労賞・功労賞(勤続20年表彰)・小野賞 受賞者

## 【特別功労賞】

第8地区 中澤 靖 昭和大学病院

## 【功労賞(勤続20年表彰)】

第1地区	雨宮 幸夫	三楽病院
第1地区	堤 茂	みずほ健康保険組合大手町健康開発センター
第2地区	小林 雅治	聖路加国際病院
第2地区	宅石 修	勝どきビュータワークリニック
第3地区	根本 道子	慶応義塾大学病院
第3地区	松本 亘	東京医科大学病院
第5地区	渡辺 靖志	東京大学医学部附属病院
第6地区	浅沼 雅康	東京女子医科大学東医療センター
第6地区	岡部 博之	新葛飾病院
第8地区	佐藤 久弥	昭和大学病院
第10地区	大地 直之	河北総合病院
第10地区	白石 太郎	荻窪病院
第10地区	中田 真路	練馬区医師会医療健診センター
第11地区	隅田 真光	厚生中央病院
第12地区	内藤 清	東京都立東大和療育センター
第13地区	札元 将史	京王八王子クリニック
第15地区	平木 仁史	帝京大学医学部附属溝口病院

## 【小野賞】

第6地区	氏原 英幸	荒川区がん予防・健康づくりセンター
第9地区	矢野 孝好	日本大学医学部附属板橋病院
第10地区	杉本 羊右	東京衛生病院
第12地区	篠田 浩	公立昭和病院
第14地区	安藤 一哉	東京慈恵会医科大学附属第三病院
第14地区	内山 秀彦	東京慈恵会医科大学附属柏病院
第16地区	金場 敏憲	国際医療福祉大学保健医療学部放射線・情報科学科



功労賞(勤続20年表彰)



小野賞

# 小児の薬の飲ませ方 ～そのコツと管理～

国立成育医療研究センター 薬剤部長 石川洋一

## 1. はじめに

小児は成人と異なり、服薬の意味、必要性を理解して積極的に服薬しようとしているわけではない。逆に考えればお腹がいっぱい、機嫌が悪い、美味しくない、粒がざらざらする、などのことで服薬を嫌がるのはごく自然なこととも言える。服薬を嫌がる小児への与薬はむずかしく、一般の薬局における保護者からの質問は薬自身のことより服薬方法に係わる内容が多いほどである。

小児は同じ年齢でも、発達段階も個性も人それぞれであり、服薬に決まったパターンがあるわけではない。例えば、薬は甘くすると飲んでもらえると思われがちだが、味噌汁で服用させると上手に飲める小児もいる。4歳で錠剤が服用できる幼児もいれば、小学校に入っても錠剤がうまく服用できない小児もいる。

したがって小児の服薬は、決まった与薬方法で、どの子もうまく服薬できるというものではなく、薬剤師はたくさんのバリエーションの中からその子にあった方法を選択するようにしている。

便利なバリエーションの一つとして、近年種類が増えてきた与薬のための補助グッズの活用も推奨できる。実際に使用すると便利なものが多く、このような製品を利用するのも大変良い方法と考える。本稿では、このような小児の上手な薬の飲ませ方、合わせて薬の安全な管理について概説する。

## 2. 小児の薬の飲ませ方

服薬方法は、基本は年齢によって変えていく必要がある。乳児までの頃は、まだ味覚が十分に発達しておらず、味だけで服薬を強く嫌がる例は少ない。この頃は粉薬も水に溶かして水薬にして、哺乳瓶の乳首や注入用シリンジを用いて服用させると良い。またスプーンで飲めるようになった子にはスプーンで服薬させると良い。

生後12ヵ月から18ヵ月になると離乳も終わり、幼児の味覚も発達してくる。そしてだんだん好き嫌いの自己主張をするようになる。このためこの時期以降には

様々な理由で服薬を嫌がる例が増えてくる。

幼児期に一番難しい散剤の与薬では、スプーンの上に薬をのせて少量の水で溶き、そのまま1回飲ませ、その後すぐに水やジュースを飲ませる方法がある。最初に多めの水で溶くと飲み終わる前に薬の苦味がでたり、量が多くて飲みきれず薬を飲み残したりすることがあるので少量の水で溶かすのが良い。

嫌がる場合は、ジュース、甘いヨーグルトなどに混ぜると与薬しやすい。それでもうまくいかない場合は、アイスクリーム（冷たさも効果的）、ミルクココアの粉末、パンにつけるチョコレートスプレッドを用いると薬の味に気付かれずに飲ませることができる。

幼児期には、服薬がうまくできたときに保護者が「上手に飲めたね」と褒めてあげるのがポイントである。褒められると幼児は服薬に積極的な協力を見せてくれることが多い。

## 3. 服薬補助具の有効活用

乳児のころは、薬を口に入れること自体が難しい。このようなときに注入用シリンジはスポイトよりも使用しやすく、また薬の量を測るにも便利なので特に推奨したい。使用する場合は、口の中央でなく口の角側から入れて、舌に当てないように頬の内側から奥の方に、



図1. 薬を飲ませやすくする補助製品

誤嚥しないよう流し込むと良い。哺乳瓶の乳首（チューチュー）を吸ってくれる場合は、とても与薬がしやすい。乳首型に作られた専用の服薬補助具も推奨できる（図1）。

最近では服薬を助ける服薬補助ゼリーのような専用食品も増えてきている。これらは町の保険薬局で発売しているので、服薬に慣れていないときには推奨できる。ゼリーと散剤は混ぜて使用するのではなく、スプーンにゼリーを広げ、その上に薬をのせ、その上にまたゼリーを広げ、薬を包むようにして用いる。

昔から使われているオブラートも、最近はイチゴ味のものや、薬を包みやすい袋型のものが発売され使いやすくなっている。オブラートを使用する場合、乾いたオブラートを口に入れると口腔内に吸いついて取れなくなり、その後破れて失敗することがあるので、薬を包んだオブラートをコップの水に入れてとろみをつけてスプーンで飲ませるとうまくいく。

#### 4. 忘れてはいけない薬の安全管理

最後にお薬の安全な保管について述べたい。乳幼児の誤飲事故は毎年頻繁に発生し、後を絶たないと言う

事実は意外と知られていない。

これを防ぐには、1）一般の方に向けた誤飲問題の啓発活動、2）誤飲を起こさない安全な包装・容器を使う事、の2つがポイントとなる。まずは「1歳の幼児は身長が約80cmあり1mまで手が届く、就学前の幼児でも冷蔵庫から水薬を取り出して飲むことができる」などの知識を医療従事者間でも共有したい。

もうひとつの手立ての安全な包装・容器についてだが、例えば水剤の容器で、ふたを押し下げながら回さないと開栓できず、そのまま開けようとするをクリック音が出る容器がある。日本では小児用の市販水薬で、これが採用されている製品が多い（図2）。少し不便な容器に見えるが、乳幼児の安全のためにぜひ普及させたい。最近は錠剤の包装にもこのような乳幼児が誤飲しにくい包装が使われるようになりつつある（図3）。兄が錠剤を取りだし、弟の乳児がそれを飲んでしまったという悲しい事例もあるので、誤飲を防ぐ安全な包装・容器は開けにくくて不便と考えず、積極的に活用するように医療従事者は応援をしていただければと考える。

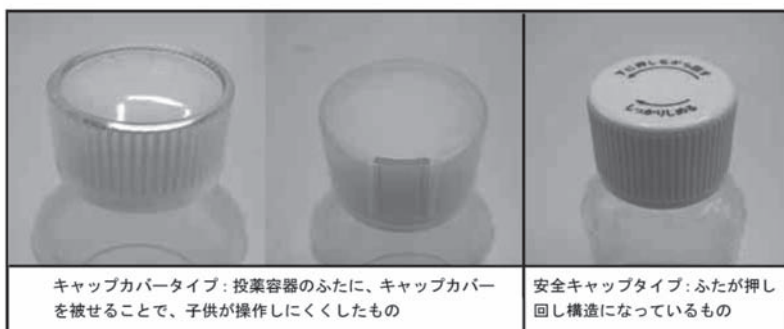


図2. 水薬瓶の誤飲防止のためのフタの例

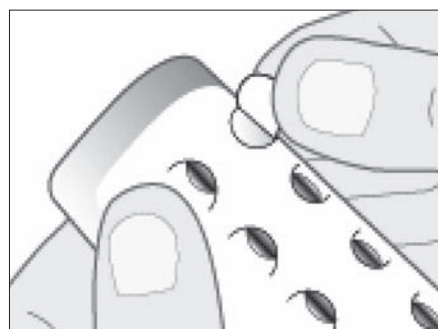


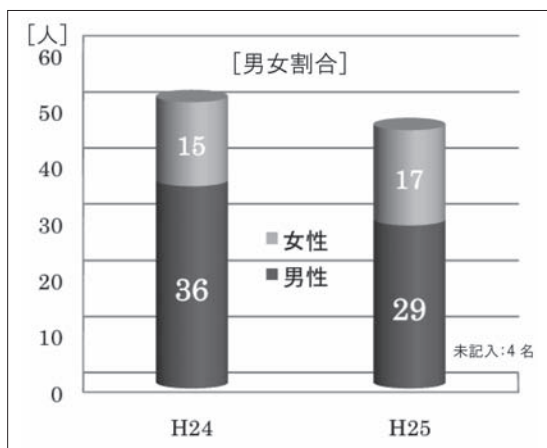
図3. 錠剤の誤飲防止包装の例



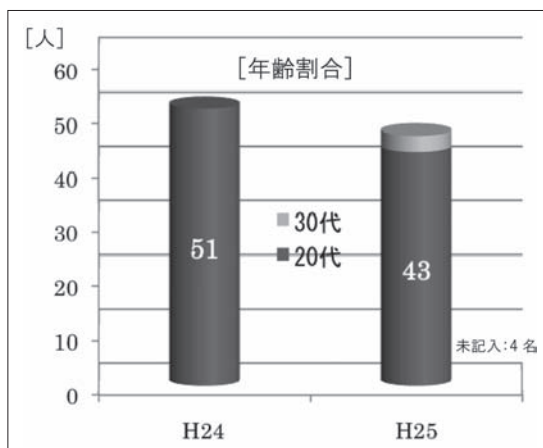
# H25年度診療放射線技師のための「フレッシューズセミナー」 および第23回日暮里塾ワンコインセミナー アンケート結果

学術教育委員会

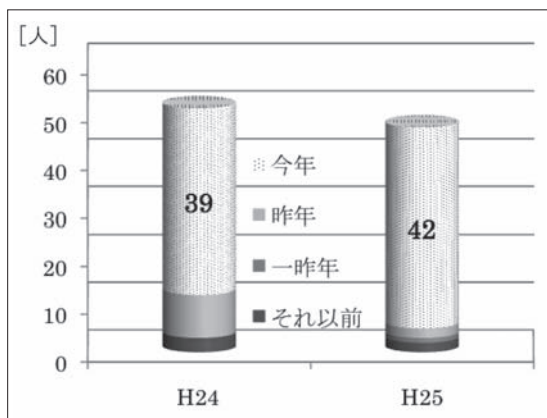
問1 男女割合（前年度との比較）



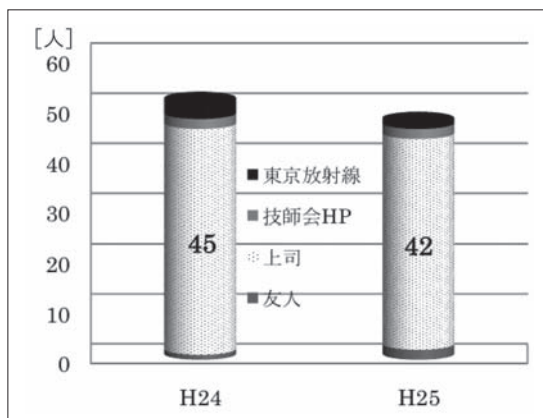
問2 年齢割合（前年度との比較）



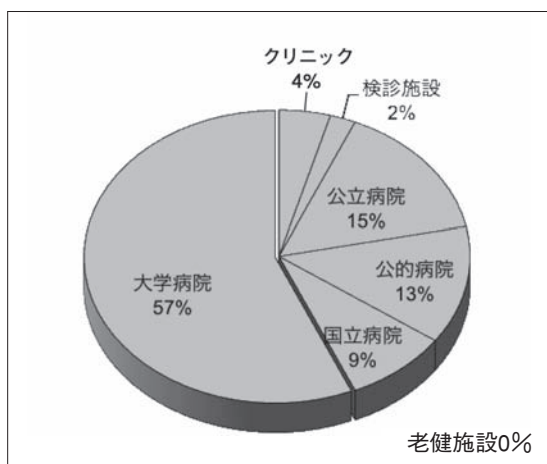
問3 卒業年度（前年度との比較）



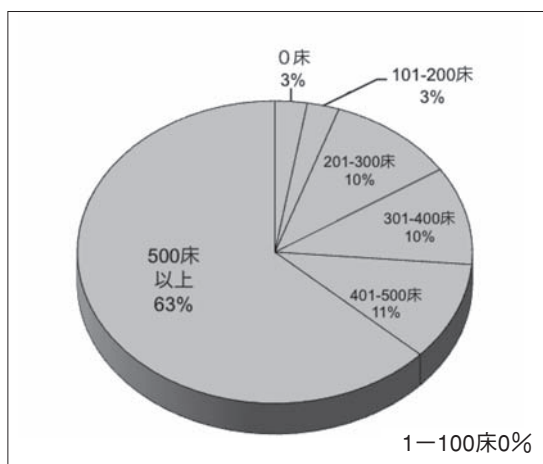
問4 情報源（どこで知りましたか）



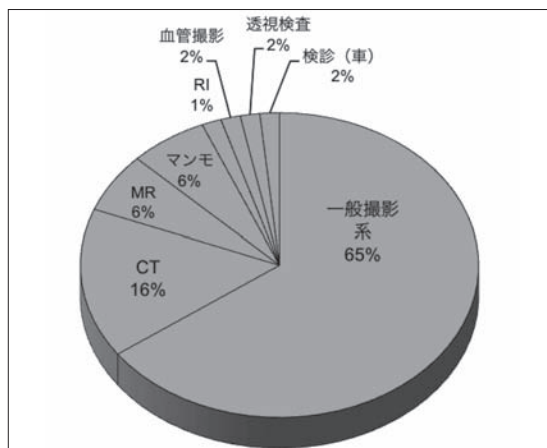
問5 病院規模



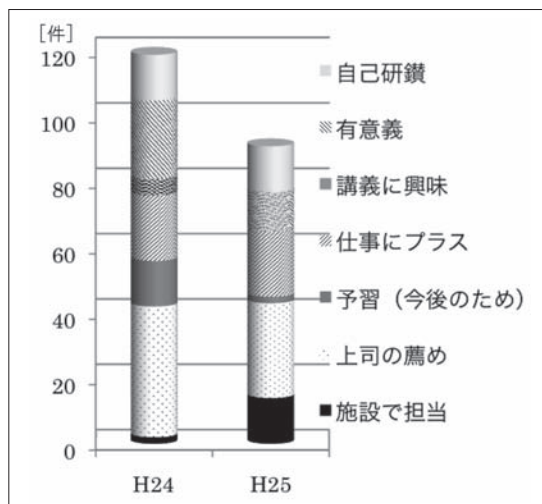
問6 病床数



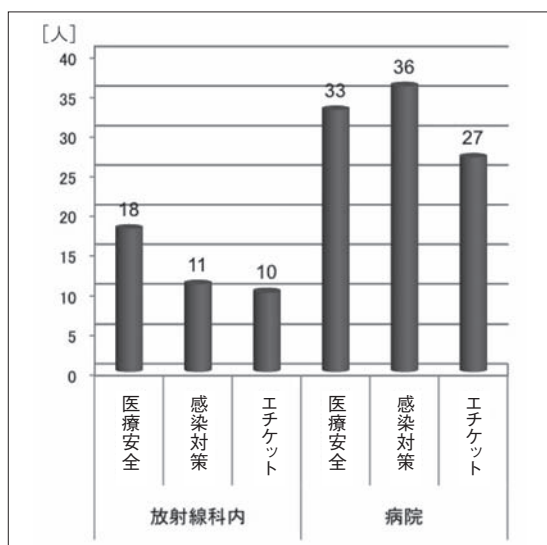
## 問7 現在の担当部門



## 問8 参加動機(複数回答)



## 問9 病院・放射線科内での講習会実施実績



## 問10 今後の希望テーマ

一般撮影(手技・解剖)	32
一般撮影装置(FPD・DR)	12
胃 X 線検査	2
大腸 X 線検査	0
透視装置(FPD・DR)	3
血管撮影(手技・解剖)	6
超音波	1
CT 装置	13
CT 検査法	17
MRI 装置	12
MRI 検査法	17
マンモグラフィ	10
核医学(装置・管理)	0
核医学(検査法・撮影技術)	1
画像解析	2
放射線治療(装置・計画)	1
放射線治療管理	4
モニター管理	1
PACS	3
医用画像(電カル・RIS)	5
読影関係	21
認定/専門試験用講義	12

## <Impression>

平成25年フレッシューズセミナーについてアンケートの報告

今回のアンケートに関しては昨年と比較して報告させていただきました。

参加状況ですが昨年は51名の参加に対し、本年は50名とはほぼ同じ参加数でした。男女比(問1)ですが、ほぼ昨年と同じような割合で参加を頂きました。年齢的には昨年は全て20代でしたが今年は30代の方が数名見られました。卒業年度(問3)に関して今年は新卒者が多く見られました。事業を知るきっかけは多くが施設上司からでやはり指導的立場にいる方の影響が多いようです。(問4) 施設の(問5、6)には病床数の多い大学病院が最も多い傾向でした。これは入職数の多さが影響しているものと思われます。

現在担当している部門(問7)に関しては65%で一般撮影、あとCT、MRIと続く結果となりました。中には複数担当しているという回答も見られました。

参加動機は上司の薦めが多く、次いで自己研鑽が続く結果となりました。

参加する以前に施設で各講義についてすでに行ったか否かについては多くの施設で実施している回答でした。今後は特徴のある講義も考える必要があると思われます。

希望するテーマについては一般撮影が多く、問7の質問の結果に影響しているように思えます。

今後この結果を基にさらに充実した研修会を立案して行く所存であります。

参加して頂きました方々に感謝いたします。

## 以下、自由意見

- ・意識改善にとっても参考になった。
- ・胸部単純撮影講座の写真症例が明るくて見づらかった。
- ・胸部が良かった。腹部もお願いします。(5件)
- ・1コマが長すぎる。

- ・病院で行った内容とはほぼ同じで改めて参考になった。
- ・動画での講義は分かりやすく良かった。(他3件)
- ・技師会の重要性、活動紹介(2件)

以上

## 城東支部研修会

## 患者さんへ伝える医療被ばく「医療被ばくと管理」を受講して

東京大学医学部附属病院 笠原朗弘

放射線は医療やその他の分野でさまざまな用途として活用されていて、われわれ診療放射線技師はこの放射線を人に対して照射することが許されている職業です。放射線を利用することによって病気の治療や診断を行い、多くの利益をもたらすことができますが、使い方によっては体に悪影響を及ぼす場合もあります。医療被ばくは患者さんが被ばくを受けても、それにまさる利益をもたらすことが前提条件となっており、診療に必要な被ばくは最大限減らすように検査が行われています。しかし微量の放射線を浴びたことによっても大きく不安を抱いてしまう患者さんもあります。

検査の前や終了後に、患者さんが自身の受けられた検査についてや、被ばくについてきかれることがあります。その場で説明し納得してお帰りいただくことができて、もっと患者さんに安心してもらえる対応をできないか悩み考えることがあり、今回の研修会に参加させていただきました。

2011年に発生した東日本大震災による福島第一原子

力発電所の事故により、放射線に対する世間の不安は増し患者さんからの質問も増えたように感じます。心配をかかえている患者さんは検査に対する利益のことを忘れ、影響や障害で頭がいっぱいとなっているため誘導し検査を押し進めるのではなく、どういった検査をこれから進めていくのか承知していただく必要があります。そして質問をする患者さんの多くは、心配はないことを伝えても納得を得ることは難しく、各検査の被ばく線量と体への影響が発生する線量との関係性などを説明することも必要となります。研修会では特にこのことに関して一から丁寧に説明していただきました。そして客観的なデータを示すだけでなく、信頼関係を持って検査を行うためには、その患者さんの不安や関心に対応し趣意にあった説明が大切です。

このたびの研修会への参加を期に、あらためて放射線を取り扱っていることに関して責任感を持ち、使用するからにはしっかりとした知識を備え、最良な検査や対応が行えるよう励みたいと思います。



首都大学東京健康福祉学部放射線学科  
福士政広 教授

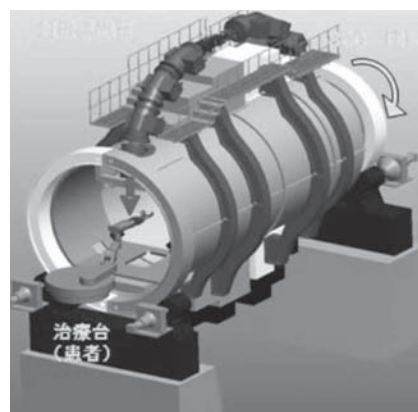


## NEWS ひろい読み

# 重粒子線照射、超電導で、 がん治療向け装置東芝が放医研に

東芝は重粒子線を利用したがん治療装置の中核部品を国の放射線医学総合研究所から受注したと発表した。

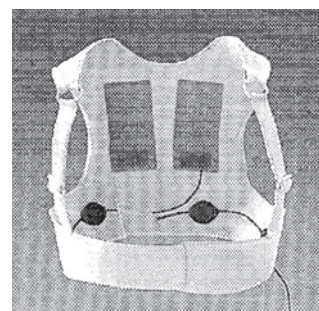
重粒子線の照射システムが対象で従来の常電導磁石タイプから超電導磁石タイプに置き換えたのが特長。医師が患者に重粒子線を当てる際の位置決め作業が容易になるほか、治療を受ける患者の負担も減る。重粒子線治療装置に超電導磁石を採用したのは、世界初という。高磁場を発生できる超電導磁石を採用することで、装置の大きさ底約13メートルと常電導タイプの約半分にできる。重粒子線は制御が難しく、常電導磁石では装置が大きくなるのが課題だった。(8.7日経産)



回転ガントリーの模式 (東芝のリリースから)

### 着る除細動器国内承認／不整脈時に治療

旭化成は着用型の自動除細動器「ライフベスト」(写真)の製造販売承認を厚生労働省から取得した。体内に入れる植え込み型除細動器(ICD)と類似の機能を持つが、着脱型として承認を得るのは国内初。体を切らずに使用し、不整脈が起きた場合は治療することができるのが特徴で、旭化成は医療機関などにレンタルするモデルを構築し、早期に事業化したい考えだ。旭化成が2012年に買収した米救急救命機器大手ゾール・メディカルが開発した製品で、米国などではすでに製品化されている。ベスト型の機器に心電図を測定する電極と除細動用の電極が付いており、着用した患者の心臓の動きを常時監視し、不整脈が起きた場合は自動で除細動治療を行う。ライフベストは着脱型のため使用開始や終了が簡単で、心不全や心筋梗塞後、冠動脈再建術後の患者など患者の状況に応じた幅広い利用が見込まれるという。(7.9日経産)

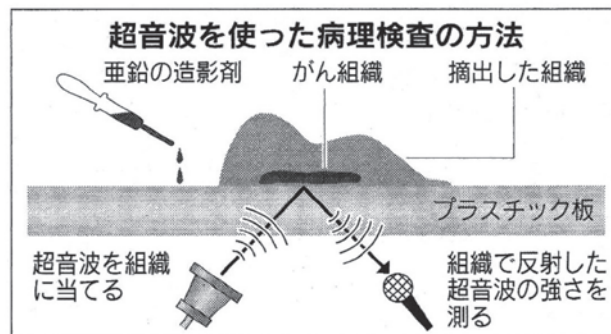


### iPS使わず心筋再生 負担軽い再生医療に道

慶応義塾大学の家田真樹特任講師らは人の心臓の拍動しない細胞を、拍動する心筋細胞に作り変えることに成功した。5種類の遺伝子を入れて変化させた。この手法を使い、心筋梗塞患者の体内で心筋細胞を直接作り出せれば、万能細胞のiPS細胞を使わない新たな再生医療が実現できると期待している。10年後の臨床応用を目指す。成果は米科学アカデミー紀要(電子版)に16日以降、掲載される。心筋梗塞では心筋細胞が失われるとともに拍動しない「線維芽細胞」が増え、心臓のポンプ機能が下がる。症状改善には心筋細胞を増やす必要があるが、失われた細胞を元に戻すのは難しい。実験では心臓病で手術をした患者から線維芽細胞を採取し、5遺伝子を導入した。心筋細胞に似た細胞ができ、他の心筋細胞と一緒に培養すると同じリズムで拍動した。心筋細胞に変化したのは5%程度だが、生後1カ月から80歳まで患者の年齢にかかわらず、変化させることができた。研究チームはすでに心筋梗塞のマウスの心臓の細胞に3遺伝子を送り込み、体内で心筋細胞を再生する実験に成功している。心筋細胞の再生では、iPS細胞を心筋細胞に育て外部から補う研究が進む。今回はカテーテルで遺伝子を導入し、患者の心臓の線維芽細胞を心筋細胞に変化させるので、胸を開く手術が不要。iPS細胞を使うよりも作業を簡単にできるという。(7.16日経)

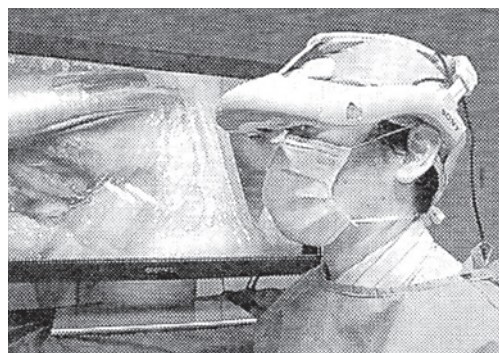
### がん組織、10分で病理検査／亜鉛溶液かけ超音波照射

豊橋技術科学大学の吉田祥子講師らと本多電子（愛知・豊橋市）は、がんが広がる範囲を手術中に10分で病理検査できる技術を開発した。超音波技術と造影剤を使ってがん組織を見分け、手術で取り残すのを防ぐ。30分以上かかっていた従来技術に比べ、手術の進行を妨げない。まず肝臓がんと脳腫瘍で効果を確認した。今後様々ながんを試し、5年後をめどに実用化を目指す。新技術は、プラスチック板の上に組織を載せて下から超音波を当てる。プラスチック板を通過して組織表面で反射した超音波をとらえる。組織の密度が大きいと超音波が強く反射する。組織に造影剤の亜鉛溶液をかけると、がん細胞だけが亜鉛を取り込み、超音波の反射が強くなる。造影剤を使う前より反射が強まった部分をがん組織として割り出す。マウスの肝臓にできたがん組織を使った実験で、応用のめどが立った。造影剤や超音波での観察は簡単で、病理検査が10分程度で終わる。がん細胞が亜鉛を取り込む性質を利用するので、ベテランの専門医でなくてもがん組織と正常組織を判別できる。従来の手術中の検査では、組織を凍らせて薄く切り、染色しなければならなかった。時間も30分以上かかっていた。がん組織だけを染められず、正しく判定するには長年の経験が必要だった。がん細胞特有のたんぱく質だけを染色する方法もあるが、半日以上の間が必要だった。研究グループは今後、超音波を通しやすいプラスチック板を開発するなどして、専門医が判断するのと同じ検査精度を目指す。造影剤を工夫して肺がんや血液がんなど様々ながんへの応用も探る。（7.17日経産）



### 3D内視鏡手術円滑に／ソニーが頭部装着モニター

ソニーは23日、手術に使う3D（3次元）内視鏡とつなぎ、頭部に装着して患部の画像を見る「ヘッドマウントモニター」（写真）を8月1日に発売すると発表した。手術中に画像が映るモニターの位置を確認する必要がなく、円滑な作業ができるようになる。腹部などに小さな穴を開け、体内の様子を確認する外科用内視鏡のモニターとして使う。高精細の有機ELパネルを右目と左目用の2枚搭載し、画像が二重に見える現象を防止。現在、3Dの内視鏡手術では専用のメガネをかけて設置型のディスプレイで確認しているが、新製品を使えばディスプレイの位置を気にせず手術できる。現在欧米の承認を申請中で、14年春ごろに発売する見込み。3Dの外科用内視鏡はオリンパスが今年4月に発売したほか、独カールストルツなども参入している。ソニーは2015年ごろに外科用内視鏡のうち2割が3Dになるとみている。（7.24日経産）



## お詫びと訂正

「東京放射線」2013年9月号の「お知らせ1」において、タイトルに誤りがありましたので下記のとおり訂正させていただきます。

2013年9月号12ページ

（誤）「第6回地区研修会」

↓

（正）「第6地区研修会」

関係各位にご迷惑をお掛けしましたことを深くお詫び申し上げます。

編集委員会

## 第22回日本消化管画像研究会 臨床セミナー

消化器外科医が求める画像 –胃・大腸の開腹手術に必要な画像–



日本消化管画像研究会会長 腰塚慎二

第22回研修会では、診療放射線技師に必要な撮影技術と読影の補助について、外科医が必要とする、外科医が求める消化管画像とは何か。胃と大腸を専門とする医師と、その施設で検査に携わっている診療放射線技師に講演をお願いしています。

日 時：平成25年10月19日(土)  
時 間：14：00～18：00（13：00より受付）  
会 場：社会保険中央総合病院 4階 講堂  
（防災センター口よりエレベーターで4階へ）  
参 加 費：日本消化管画像研究会会員、日本診療放射線技師会会員 2,000円  
上記以外の方 3,000円（新規加入の場合は参加費込みで 4,000円）  
定 員：100名（必ず事前登録をお願いします）

### ～プログラム～

- |                |   |           |
|----------------|---|-----------|
| 1. 14：00～15：00 | 大腸開腹手術に必要な基礎知識と画像診断<br>埼玉県立がんセンター 消化器外科 | 西村 洋治 医師  |
| 2. 15：10～15：50 | 術前注腸X線検査のポイント<br>埼玉県立がんセンター 放射線技術部      | 山入端 薫 技師  |
| 3. 16：00～17：00 | 胃開腹手術に必要な基礎知識と画像診断<br>社会保険中央総合病院 一般外科   | 伊地知 正賢 医師 |
| 4. 17：10～17：50 | 術前胃X線検査のポイント<br>社会保険中央総合病院 放射線部         | 鶴沼 清仁 技師  |

- ・事前登録：日本消化管画像研究会HP（<http://www.st-be.jp/index2.html>）の画面左にあります“Mail”より、施設名、施設住所、氏名、メールアドレス、会員の有無を記載の上、送信をお願いします。受信確認後、返信いたします。  
受付開始は平成25年7月29日より行います。
- ・問い合わせ方法：事前登録と同様に、問い合わせの要件を記載して送信してください。  
なお会場へのお問い合わせはご遠慮ください。
- ・会場への交通案内：社会保険中央総合病院山手線 新大久保駅下車 徒歩5分



## 第26回胃X線検査レベルアップセミナーのご案内

### 初心者向けセミナー

記

日 時：平成25年10月26日（土）受付開始13:30～  
場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター  
〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505  
ア ク セ ス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分  
主 催：一般社団法人日本消化器がん検診学会関東甲信越支部  
後 援：公益社団法人東京都診療放射線技師会  
参 加 費：会 員 1,500円（日本消化器がん検診学会または診療放射線技師会）  
：非会員 2,500円  
定 員：70名位  
お申込み方法：日本消化器がん検診学会関東甲信越支部  
放射線部会ホームページ<http://www.jsjgcs-kanto-x.org>よりお申込み下さい。  
お申込み期間：10月7日（月）～10月21日（月）まで  
※胃がん検診専門技師更新単位 3ポイント付与されます。

以上

#### ～プログラム～

13:30～14:00	受付・プレリーディング	
14:00～14:05	開会挨拶	代表世話人 宮田 和則
14:05～15:00	講義Ⅰ 前壁撮影の簡単なコツ	
	講 師 神奈川県予防医学協会	木村 俊雄 技師
15:10～16:30	講義Ⅱ 胃X線読影～所見の捉え方・用語の使用法・切除標本との対比～	
	講 師 東京都がん検診センター	入口 陽介 先生
16:40～18:00	症例検討会（グループリーディング方式）	
	指導医 東京都がん検診センター	入口 陽介 先生
18:00	閉会挨拶	副代表世話人 鶴田 恭央

## 放射線障害防止法に基づく放射線管理実務講習会

主催：神奈川県放射線管理士部会、神奈川県核医学研究会、神奈川県放射線治療技術研究会

後援：（公社）神奈川県放射線技師会、（公社）日本放射線技術学会・関東部会、日本放射線公衆安全学会、  
日本放射線治療専門放射線技師認定機構、日本核医学専門技師認定機構、（特）日本核医学技術学会

本年度より放射線障害防止に関する監督所管が、文部科学省から環境省外局である原子力規制委員会に移管されました。医療現場で直接関与する問題として「放射化物」の取り扱いなど、多くの問題を抱えた状況での今回の動きに、現場としてどのように対応していくのか、考えることが山積している現状であります。

法令の移行期間に当たる現状、例年のように所管官庁に近い立場の講師をお招きすることが困難な状況にあります。そこで本年度は例年とは開催内容を大きく変更させていただくことといたしました。

医療施設において放射線障害防止法が関係する施設の多くは放射線治療を有する施設であるため、本年度は地域に根差した情報提供を趣旨とし、神奈川および近隣都県の施設より講師をお招きし、実際に行っている法令上の対応や管理を中心にご講演いただきます。

まずは神奈川近隣地域で情報の共有をし、法令改正等に確実に対応していきたいと考えております。

参加の皆様のお役に立てるような内容に仕上がっていると自負しておりますので、奮ってご出席くださいますようお願い申し上げます。

本講習会案内掲載ウェブサイト

神奈川県放射線管理士部会	<a href="http://krsv.umin.jp/">http://krsv.umin.jp/</a>
（公社）神奈川県放射線技師会	<a href="http://kart21.umin.jp/">http://kart21.umin.jp/</a>
神奈川核医学研究会	<a href="http://www.ksnm.umin.ne.jp/">http://www.ksnm.umin.ne.jp/</a>

日 程：平成25年10月27日（日）10：30～16：45（受付開始10：00～）

会 場：日産ウェルフェア横浜「日産メディカル2F」

神奈川県横浜市神奈川区新子安1-37-1

最寄駅：JR「新子安駅」、京浜急行「京急新子安駅」

（京浜急行をご利用の場合、隣の子安駅との間違いにご注意ください）

注）本会場は、駐車場を用意しておりません。ご了承ください。

※プログラム・会場等は変更される可能性があります。

詳細および最終プログラムについては上記の神奈川県放射線管理士部会HPにてご確認ください。

定 員：100名（定員になりましたら、締め切らせて頂きます）

注）事前登録なしの参加者の扱いについて

席数に限りがありますので、事前登録された方を優先とさせていただきます。

受講費：5,000円（学生は無料・ただし学生証提示）

## プログラム

1. 「放射線障害防止法と医療用直線加速装置の管理」 10:30～11:30  
講師 国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 放射線部 佐藤周之
2. 「管理帳票（台帳）管理の事例検討 ～医療監視・定期確認に対応する一手間～」 11:30～12:00  
講師 帝京大学医学部附属溝口病院 中央放射線部 佐伯寿夫  
  
————— 昼食休憩 12:00～13:30 —————
3. 「リニアックにおける放射線管理の実際」 13:30～14:30  
講師 昭和大学大学院保健医療学研究科 岩井謙憲
4. 「放射線治療装置の実務 放射化物の廃棄 ～当院の廃棄報告～」 14:30～15:30  
講師 JA神奈川県厚生連相模原協同病院 放射線室 松本好正  
  
————— 休憩 15:30～15:45 —————
5. 「当院における放射線障害防止法による放射線治療領域の安全管理と品質管理への取り組み」 15:45～16:45  
講師 がん研有明病院 放射線治療部 伊藤康

### 参加申込み・問い合わせについて

事前登録となりますので、受講される方は下記のアドレスに、氏名・施設名・所属・連絡先（電話番号も含）・日本診療放射線技師会の会員番号・神奈川県放射線技師会の会員の方は会員番号を記入してお申し込みください（必須）。申し込み後は当部会からの事前登録完了メールを、必ずご確認ください。

申込み詳細については、神奈川県放射線管理士部会HP・問い合わせをご参照ください。

受講申込メールアドレス [krsv.info@gmail.com](mailto:krsv.info@gmail.com)

件名は「10月27日（日）受講希望」を明記お願いします。

### 代表者がまとめて申し込む場合

必ず、代表者氏名と常時連絡が取れるメールアドレスでの申し込みをしてください。

※当日は昼食会場を準備いたします。

皆様の参加をお待ちしております。



## —日本消化器画像診断情報研究会（日消研）第5回セミナー（四国）開催—

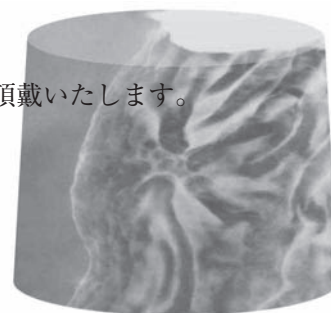
日本消化器画像診断情報研究会

会 長 埋橋 喜次

会員の皆さまへ この度第5回セミナーを四国高松の地で開催する運びとなりました。今回のセミナーは広く皆さまが日常接している疑問を中心に組み立てました。講演は地元を始め全国に著名な先生方をお願いいたしました。大変濃い構成になっております。ぜひ、ご周囲の皆さまお誘いあわせの上、ご参加を賜りますようご案内申し上げます。

### 記

- 1 開催日時：平成25年11月2日（土） 13：30（12：30受付）
- 2 場 所：サンポートホール高松「54会議室」 TEL：087-825-5000  
〒760-0019 高松市サンポート2番-1号（JR高松駅より徒歩3分）  
ことடன்高松築港駅から徒歩5分  
高松自動車道 高松中央ICから国道193号経由車で約20分
- 3 テーマ：“消化管X線検査学 画像認識と表現方法”
- 4 対象者：初心者からベテランまで幅広く対象にしています。定員120名程度
- 5 講義内容及び講師予定
  - ① 13：30～13：35 「会長挨拶」 練馬区医師会医療健診センター 埋橋 喜次 会長
  - ② 13：40～14：00 「バリウム造影剤の特性と製品紹介」  
カイゲンファーマ株式会社 山本 淳二 氏
  - ③ 14：00～14：30 テクニカルレクチャー 「基準撮影の補完」  
愛媛県総合保健協会 宮野 浩 技師
  - ④ 14：40～15：40 教育講演Ⅰ「萎縮とX線画像」  
KKR高松病院健康医学センター 安田 貢 先生
  - ⑤ 15：55～17：10 教育講演Ⅱ「読影の基準化」  
東京都がん検診センター 小田 丈二 先生
  - ⑥ 17：15～18：30 教育講演Ⅲ「食道所見のとらえ方」  
アジュール竹芝総合健診センター 八巻 悟郎 先生
  - ⑦ 閉 会 セミナー受講証配布
- 6 19：00～ 情報交換会（会費3,500円別途徴収します）
- 7 会 費：日消研会員1,000円、非会員3,000円
- 8 当日入会者は参加費は無料ですが、本年度研究会年会費として3000円を頂戴いたします。
- 9 申込み／問合わせ先：日消研第5回セミナー事務局 松野 勝也  
香川県多田羅内科クリニック  
電話087-861-3730 FAX：087-861-3430  
メールアドレス：tataranaika@yahoo.co.jp
- 10 募集開始：2013年7月1日より定員になり次第締め切ります。  
上記アドレスのみ対応いたします。  
まずは、メールにてご連絡ください。



## 第9回 胃X線画像読影勉強会のご案内

### (平成25年度第4回)

記

日 時：平成25年11月22日(金) 18時30分～20時30分(18時00分受付開始)  
場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター  
〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505  
ア ク セ ス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分  
主 催：一般社団法人日本消化器がん検診学会関東甲信越支部  
後 援：公益社団法人東京都診療放射線技師会  
参 加 費：会 員 1,500円(日本消化器がん検診学会または診療放射線技師会の会員)  
：非会員 2,500円  
定 員：70名位(定員になり次第お申込みをお断りする場合があります)  
お申込み方法：日本消化器がん検診学会関東甲信越支部  
放射線部会ホームページ<http://www.jsjgcs-kanto-x.org>よりお申込みください。  
お申込み期間：11月5日(火)～11月18日(月)まで

以上

#### ～プログラム～

教育講演

### 「胃がんX線検診の読影基準について」

慶應義塾大学病院予防医療センター

吉田 諭史 先生

## 第8回

## 総合健康づくりフェア

～今ここから始まる！あなたのいきいきライフ～



子どもから大人まで楽しめます！みんなで遊びにきてね！



**2013年11月2日(土)**

**午前10時～午後3時30分**

**会場：町田市健康福祉会館**

(町田市原町田 5-8-21)

お問い合わせ  
イベントダイヤル  
☎042-724-5656

販売は数量に限りがございます。

予定しているイベントの内容は、予告なく変更する場合がございますので、予めご了承ください。

\* 駐車場は使用できませんので、公共の交通機関をご利用ください。

主催 町田市（事務局 保健企画課 TEL042-724-4241 FAX050-3101-8202）

協力 一般社団法人町田市薬剤師会、NPO 法人東京養育家庭の会みどり支部、NPO法人鶴見川源流ネットワーク、健康食生活展実行委員会、公益社団法人 東京都診療放射線技師会、自主グループダリア会、昭和薬科大学、八王子児童相談所、町田市明るい選挙推進協議会、町田市看護部長会、町田市健康づくり推進員、町田集団給食研究会、町田市消費生活センター運営協議会、町田市認定農業者朝市部会、町田精神保健福祉推進会、町田市老人クラブ連合会、未来を創るアーバンネットまちだ（50音順）



## 健康とは？☆☆ 第8回 総合健康づくりフェア イベント内容

健康とはどのようなことでしょうか？“総合健康づくりフェア”で考える健康は単に病気がないことだけではなく、「自分や地域を大切に、元気にその人らしく生きていくこと」と考えています。

今回で8回目となる今年のテーマは「今ここから始まる！あなたのいきいきライフ」です。

“自分らしく いきいき 過ごす” ヒントを見つけてみませんか。

ミニ講習会を開催します

### 午前の部

「身近な香り発見しよう！

毎日楽しいアロマセラピー」

講師：ホリスティックアロマセラピー

パチュリ代表

IFA 認定アロマセラピスト 原田 尚子 氏

時間：午前 10 時 30 分～午前 11 時 30 分

定員：36 名

### 午後の部

「おうちも心もスッキリと！

手早い掃除と簡単整理のポイント」

講師：町田友の会

午後 1 時 30 分～午後 2 時 30 分

定員：36 名

1 つの講習会につき、1 枚のはがきでお申込みください。

申込み多数の場合は抽選となります。

### ● 申込み方法

次の①～⑤を明記し、往復はがきでお申込みください。（返信用にも宛先を明記してください。）

① 住所 ②氏名 ③電話番号

④希望する講習会名 ⑤年代（※）

※ ⑤は午前の部の講習会をご希望の場合のみご記入ください。

※ 小さいお子さん連れの場合、その旨もお書きください。保育はありませんが、お気軽にご参加いただけます。

送付先：いきいき健康部保健企画課

〒194-8520 町田市森野 2-2-22

締切 10 月 11 日（消印有効）

### 測定

○町田市健康づくり推進員による健康チェック

肌水分、握力、棒反応などの各種測定会

○ 骨密度測定

年齢：20 歳以上

受付時間：午前 10 時～11 時 30 分 午後 1 時～3 時

### 相談

○ 暮らしに関わる困りごと相談

各種専門家が暮らしに関わる困り事について相談に応じます  
例 相続全般、登記、年金・労働問題に関すること など

○ お薬相談

薬剤師が個別のお薬相談に応じます

○ こころの健康相談

保健師、看護師が相談に応じます

### 展示

○ 市内の精神科病院等の紹介やデイケアで作成した作品の展示・販売

○ 町田市で行っている広報ツールの紹介

○ くすりやスパイスなどとして利用される植物の紹介

○ 高ヶ坂めだか池に生息している生き物の展示

○ 備蓄食品や保存食品を活用した災害時の食事の紹介・試食 くみんなの健康食生活展＞

○ 養育家庭制度の紹介

### 体験

○ お口の機能を向上させよう！口腔体操の実演

○ 咀嚼力チェック、歯ブラシワンポイントレッスン

○ あなたの味の好みは？塩分測定体験

○ 心臓マッサージと AED の装着・作動体験

○ あなたの手洗いの弱点は？手洗いチェッカーによる

手洗いチェック＆答えてうれしい食品衛生クイズ

○ 記憶力・注意力等のチェック「かな拾いテスト」体験

○ 男女平等に関するクイズやパズル

○ 老人クラブってなんだろう？（スポーツ輪投げ体験）

○ お菓子を使った薬剤師調剤体験（対象：小学生以下）

○ 子どもの目線（チャイルドビジョン）体験

○ 親子で遊ぼう！ストレッチ体操、簡単工作、手形・足形大きさ比べ

○ 何に変身するかな？わくわくリサイクル変身ボックス

○ どうぶつ村の村長を決めよう！模擬選挙体験

### 販売

○ 地場野菜を使用した“けんちゃんすいとん”の販売  
1 食 50 円、限定 130 食

食券販売開始 午前 10 時 30 分～食券がなくなり次第終了  
すいとん引き換え開始 午前 11 時 30 分～午後 2 時

\* 箸とお椀を持参した方で先着 50 名様には野菜クッキーをプレゼント

○ 野菜の直売

町田市産の新鮮な野菜の販売。無くなり次第終了



子どもから大人まで楽しめます！お誘いあわせのうえぜひご参加ください！



# 平成25年度7月期 会員動向

(平成25年7月)

総会員数		正会員						賛助会員					
年月	月末数	会員数	新入	転入	転出	退会	編入・入	会員数	新入	転入	転出	退会	編入・出
24年度集計	1961	1777	87	20	10	69	-8・+2	184			3	9	8・-2
H25.4	1969	1786	10	3	1	3		183			1		
H25.5	1984	1801	15	1	1			183	1		1		
H25.6	1985	1801	4	1	2	2	-1	184					1
H25.7	1998	1814	15	4	1	5		184					

新卒新入＝★

7月度	新入会(15名)	田中 裕美	町田市民病院	13 地区	
		加藤 隼斗	昭和大学藤が丘病院	15 地区	★
		寺本 花耶	立正佼成会附属佼成病院	10 地区	★
		田上 潤	(株)バリアンメディカルシステムズ	2 地区	
		長瀬 光平	昭和大学病院	8 地区	★
		佐藤 和磨	日本大学医学部附属板橋病院	9 地区	
		丸山 修司	公立昭和病院	12 地区	
		松浦 功志	自衛隊中央病院	11 地区	
		田沼 征一	イムス葛飾ハートセンター	6 地区	
		伊代田 美和	昭和大学病院	8 地区	★
		戸田 裕介	一橋病院	12 地区	★
		齊藤 喜彦	日本医科大学多摩永山病院	13 地区	
		高橋 雄大	東大和病院	12 地区	★
		飯島 一朗	東京臨海病院	7 地区	
		小山 七海	三井記念病院	1 地区	★
	転入(4名)	小田桐 慶幸	慈生会病院	10 地区	
		堀内 真		7 地区	
		熊田 真幸	葛西昌医会病院	7 地区	
		小代田 明美	練馬駅前内視鏡・乳腺クリニック	10 地区	
	転出(1名)	加藤 裕	メディカルスキャンニングお茶の水 → 愛知県へ	1 地区	
	退会(5名)	池田 祐一	聖路加国際病院	2 地区	
		岩波 寛人	シーメンス・ジャパン(株)	8 地区	
		皆川 佳代	東京慈恵会医科大学附属病院	4 地区	
		長利 隆		9 地区	
		澤 恒雄		13 地区	

# 平成25年度8月期 会員動向

(平成25年8月)

総会員数		正会員						賛助会員					
年月	月末数	会員数	新入	転入	転出	退会	編入・入	会員数	新入	転入	転出	退会	編入・出
24年度集計	1961	1777	87	20	10	69	-8・+2	184			3	9	8・-2
H25.4	1969	1786	10	3	1	3		183			1		
H25.5	1984	1801	15	1	1			183	1		1		
H25.6	1985	1801	4	1	2	2	-1	184					1
H25.7	1998	1814	15	4	1	5		184					
H25.8	2001	1814	6	1	1	4	-2	187	2		1		2

新卒新入＝★

8月度	新入会(8名)	坂口 秀喜	社会保険中央総合病院	3 地区	
		家子 栞	三井記念病院	1 地区	★
		山邊 康洋	船橋総合病院	14 地区	賛
		四方田 蘭	東京都予防医学協会	3 地区	★
		中山 暢之	富家千葉病院	14 地区	賛・再
		倉田 綾香	昭和大学病院	8 地区	★
		鈴木 諭貴	東京都健康長寿医療センター	9 地区	
		島谷 将也	昭和大学病院	8 地区	★
	転入(1名)	石田 真美子	GEヘルスケアジャパン(株)	13 地区	
	転出(2名)	小林 靖幸	湘南記念病院 → 神奈川県へ	15 地区	賛
		山中 理華子	昭和大学病院 → 岩手県へ	8 地区	
	編入出(2名)	石田 真也	筑波大学陽子線医学利用研究センター	14 地区	正→賛
		長瀬 光平	昭和大学横浜市北部病院	15 地区	正→賛
	退会(4名)	飯田 進	順天堂大学附属順天堂医院	5 地区	死去
		石川 託也	山田記念病院	7 地区	
		細谷 一美	GEヘルスケアジャパン(株)	13 地区	
		山端 憲司	都立駒込病院	5 地区	



## 学術講演会・研修会等の開催予定

日時、会場等詳細につきましては、会誌にてご案内しますので必ず確認してください。

平成25年度

### 1. 学術研修会

第16回メディカルマネジメント研修会 平成25年11月14日（木）

☆第12回ウインターセミナー 平成26年1月

### 2. きめこまかな生涯教育

第50回きめこまかな生涯教育 平成25年10月12日（土）

第51回きめこまかな生涯教育 平成26年2月

### ☆3. 日暮里塾ワンコインセミナー

第26回日暮里塾ワンコインセミナー（第15地区研修会合同開催） 平成25年11月6日（水）

### 4. 集中講習会

第6回MRI集中講習会 平成26年2月

第1回CT集中講習会 平成26年2月

### ☆5. 支部研修会

城西・多摩支部研修会

### 6. 地区研修会

第15地区研修会（第26回日暮里塾ワンコインセミナー合同開催） 平成25年11月6日（水）

第6地区研修会 平成25年11月8日（金）

第11地区研修会 平成25年11月29日（金）

第3地区研修会 平成25年12月3日（火）

第4地区研修会 平成25年12月13日（金）

### 7. 地球環境保全活動

荒川河川敷清掃活動 平成25年10月20日（日）

富津海岸清掃活動

### 関連団体

第8回胃X線画像読影勉強会 平成25年10月4日（金）

第22回日本消化管画像研究会臨床セミナー日本消化管画像研究会

平成25年10月19日（土）

第26回胃X線検査レベルアップセミナー 平成25年10月26日（土）

放射線障害防止法に基づく放射線管理実務講習会 平成25年10月27日（日）

日本消化器画像診断情報研究会第5回セミナー 平成25年11月2日（土）

平成25年度第3回静脈注射（針刺しは除く）講習会 平成25年11月10日（日）

第9回胃X線画像読影勉強会 平成25年11月22日（金）

☆印は新卒かつ新入会 無料招待企画です。

（新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう）

# イエローケーキ

## 方言

昔も今も親父の田舎に行って戻ってくると、何故か田舎訛りや方言が一週間ほどとれなくなるのです。方言とは、ある一定の地域で使われる言語体系のことである。方言… かなりインパクトがあり、面白くもあり、何気なく標準語として(?) 組み込まれている言葉もあるような無いような感じがし、調べていくとそのように思うのは私だけでしょうか? 今回は方言を取り上げてみました。

青森県: 「わ」… 「俺」。「はやぐ、まま、け」… 「早く、ごはん、たべなさい」(山形県でも言うてたな〜)。

愛知県: 「もしき」… 「たきぎ」。「まわし」… 「したく、準備」。「あらすか」… 「ないでしょう」。例文「そんなことあらすか」… 「そんなことないでしょう」(長野県でも言うらしいです)。

島根県: 「はいごん」… 「大騒ぎ」。「ぼえちゃげる」… 「おいかける」。

佐賀県: 「ちご」… 「はらわた」。

京都府、大阪府: 「なおす」… 「片付ける、仕舞う」。ちなみに、関東地方では「なおす」を、修理すると解釈しますけどね。

熊本県: 「せからしか」… 「うるさい」。「せからしか」を私は、いつの間にか自然に使っておりました。

富山県: 「ちんちんかく」… 「正座する」。例文「おちんちんかかと、こっちでひろがらっしゃい」… 「正座をしていないで、こっちで楽にきなさい」。「ちんちんかく」は、結構TV番組などで知られるようになりましたね。

このように色々に掲載しましたが、方言について調べてみるのもおもしろいですよ。

m.k

## 東放技は積極的に参加します

### ピンクリボンin東京2013

平成25年10月1日(火)

二子玉川ライズギャラリー(予定)

### 中央区健康福祉まつり2013

平成25年10月27日(日)

中央区保健所

### 第8回総合健康づくりフェア

平成25年11月2日(土)

町田市健康福祉会館

### レントゲン週間イベント

平成25年11月3日(日)

横浜市クイーンズサークル

### OTAふれあいフェスタ2013

平成25年11月16日(土)~17日(日) 平和島競艇場

### ピンクリボンウォーク2014

平成26年3月30日(日)

日比谷公園(予定)

患者さんに 優しいあたたかさを…

MORIYAMA

# 寝台用保温マット

薬事非該当商品

患者さんが寝台に乗ったときの  
“ヒヤッ感”と“硬さ”を  
緩和します。

カーボン面状発熱体の  
採用により、マット面全体に  
均一な保温性と、優れた  
X線透過性を実現しました。

※一般診察台、X線撮影台、ブッキー撮影台などにご使用いただけます。  
※本マットは起倒型寝台、手術台には対応しておりません。  
※電波障害の恐れがありますので、心電計等を併用する場合は事前に確認をしてください。

WARM MAT  
for Patient comfortable

※カタログをご希望の方は、下記の弊社営業部宛て請求ください。

裏面(滑りにくい材質を採用)



オプション  
マットカバー(不織布防水コート付)  
※MW-01、MW-02共にご用意  
しております。



MORIYAMA  
MEDICAL EQUIPMENTS  
SINCE 1954

株式会社森山X線用品  
MORIYAMA X-RAY EQUIPMENTS CO.,LTD.

営業部/〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目24番11号 TEL.03-3811-5811(代) FAX.03-3811-5484  
本社/〒123-0873 東京都足立区扇1丁目52番12号 TEL.03-3898-3151(代) FAX.03-3898-3510  
http://www.moriyama-x.co.jp E-mail info@moriyama-x.co.jp

## 診療放射線学科専任教員募集

### 東京電子専門学校

医療・コンピュータ・電子の総合学園、創立67年の伝統と4省認定校

募集対象者：診療放射線技師(臨床実務経験5年以上)、教育経験あればなお可

募集人員：若干名

学校名：東京電子専門学校

住所：〒170-8418 東京都豊島区東池袋3丁目6番1号

待遇：経歴、資格、前給等を考慮して本校規定により優遇  
賞与(昨年度実績5.45月)、交通費支給

勤務・休日：週休2日(土日祭休)、休出は代休有

社会保険：社会保険完備(私学共済)

宿舍の有無：なし

応募方法：履歴書(写)、職務経歴書、資格者証のコピー(必要なもののみ)、通勤可能な方、  
担当できる教科(可能であればお知らせください)

担当者：脇坂 哲夫 E-mail: wakisaka@tokyo-ec.ac.jp  
TEL: 03(3982)3131(大代表) FAX: 03(3980)6404



## 登録事項変更届

公益社団法人 東京都診療放射線技師会 殿

公益社団法人 日本診療放射線技師会 殿

会員番号	
氏 名	印
氏名(フリガナ)	
性 別	男性 ・ 女性
生年月日	昭和 ・ 平成 年 月 日 生

下記のとおり、登録事項の変更をお願い申し上げます。

### ☐氏名の変更

改姓 (変更後の氏名)	
-------------	--

### ☐送付先変更

現在の送付先	( 勤務先 ・ 自宅 )
新送付先	( 勤務先 ・ 自宅 )

### ☐住所等の変更

新勤務先	勤務先名	部署
	勤務先所在地	〒 ー
	電 話	
旧勤務先		
新自宅	現住所	〒 ー
	電 話	
旧自宅住所		

### ☐その他

通信欄	
-----	--

受 付

確 認

平成 年 月 日

平成 年 月 日 印

# Postscript

1958年に建てられ、1964年に東京オリンピックのメイン会場となり、長きにわたり日本のスポーツの憧れの場である国立競技場が今年一杯で建て直しのため、取り壊しされます。

陸上競技、サッカー、ラグビーなど様々なスポーツの頂点を決める試合に使われることの多い国立競技場は“聖地”と呼ばれアスリートの憧れの競技場所といわれてきました。

そのような国立競技場。日本一や世界一を目指すアスリートに限らず、学生時代に陸上部であった私もそこに憧れる一人です。地方の人達は、東京の学生は東京代表をきめる大会は国立競技場で行っていると思っている人が多いようですが、東京で競技をしている人も国立競技場で走れることは滅多になく限られた機会だけでした。高校の時は、会場が国立競技場というだけで出場を申し込んだ大会もありました。

その後社会人となり、審判員として陸上競技に携わるようになってからも他の競技場に行くのとは違った気持ちになるものでした。審判員として初めて参加した国際大会や、91年世界陸上東京大会、現在の国立競技場で開催す

る最後の国際陸上大会となった今年のスーパー陸上など、私の思い出深い大会の会場は、いずれも国立競技場でした。

ビックイベントで足を踏み入れたトップアスリートから、私のような市民競技者まで多くの人が、色々なスポーツとのかかわりを通じて、様々な思いがあるであろう国立競技場。2019年には「新国立競技場」として生まれ変わるそうですが、今の重厚で威厳のある趣から、どのような表情を持つ建物に変化をするのか、その時を楽しみに待ちたいと思います。そして、その「新国立競技場」が2020年のオリンピックメイン会場になることが決まりました！

叶うことなら私もその場に立てれば、この上ない喜びです。審判員としてですが・・・。

< t e n a i >



## ■ 広告掲載社

コニカミノルタヘルスケア(株)  
シーメンス・ジャパン(株)  
(株)島津製作所  
第一三共(株)  
東京電子専門学校  
東芝メディカルシステムズ(株)  
富士フイルムメディカル(株)  
(株)森山X線用品

## 東京放射線 第60巻 第9号

平成 25 年 9 月 25 日 印 刷 (毎月 1 回 1 日発行)

平成 25 年 10 月 1 日 発 行

発 行 所 東京都荒川区西日暮里二丁目 22 番 1 ステーションプラザタワー 505 号

〒116-0013 公益社団法人 東京都診療放射線技師会

発 行 人 公益社団法人 東京都診療放射線技師会

会 長 篠 原 健 一

編集代表 浅 沼 雅 康

振替口座 00190-0-112644

電 話 東京 (03) 3806-7724 <http://www.tart.jp/>

事務所 執務時間 月～金 9:30～17:00

案 内 ただし土曜・日曜・休日・祭日および12月29日～1月4日までは執務いたしません

電 話・FAX 東京 (03) 3806-7724

## 編集スタッフ

浅沼雅康

内藤哲也

岩井譜憲

森 美加

中谷 麗

柴山豊喜

平田充弘

高橋克行